
会 告 ・ 通 知

————— 平成 24 年 2 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内（平成 24 年 2 月 2 日～3 月 9 日）	2
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	20
◇2012 年総合大会開催案内	24
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 電気四学会関西支部専門講習会「映像蓄積技術の最新動向」	25
・大川賞受賞記念特別シンポジウム	25
・本会が協賛等のもの	25
◇国際会議	26
◇受賞候補者募集等	26
◇求人欄	27
◇お知らせ	
・平成 24 年度会費お払込みのお願い	28
・登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい	28
・英文論文誌 B レターカテゴリー廃止について	28
・IEICE Electronics Express (ELEX) の掲載料の変更について	28
・テニユアトラック普及・定着事業の御案内	28
・平成 24 年 2 月号及び 3 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	29
・「産・官・学共同研究」募集のお知らせ	29
◇論文特集号原稿募集	
・Special Section on Recent Progress in Verified Numerical Computations (英文論文誌 NOLTA)	30
・ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークキングの融合プラットフォーム (英文論文誌 B)	30
・通信技術の進展を支える学生論文特集号 (和文論文誌 B)	31
・進化するマイクロ波・ミリ波フォトニクス技術小特集号 (英文論文誌 C)	32
・医用画像特集号 (和文論文誌 D)	32
・医用画像小特集号 (英文論文誌 D)	33
◇IEICE Communications Express (ComEX) 創刊のお知らせ	35
◇FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム論文講演募集予告	36
♣各種証明, 閲覧の手数料について	23
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	29
♣複写される方へ	34

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 2 月 2 日～3 月 9 日

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日	時	会 場	告頁
思考と言語	4日(土)	10:15~17:00	機械振興会館	4
超音波	23日(木)	10:10~16:40	GEヘルスケア・ジャパン・日野本社	5
システム数理と応用	3月8日(木) 9日(金)	13:30~17:45 9:30~14:40	北陸先端科学技術大学院大学・東京キャンパス	11
IT工学	20日(月) 21日(火)	9:20~16:20 9:20~16:00	北海道大学・大学院・情報科学研究科	12
信頼性 機構デバイス	17日(金)	10:30~16:00	オムロンラーニングセンター	17
VLSI設計技術	3月6日(火) 7日(水)	10:10~16:45 9:15~16:30	ビーコンプラザ	19

2月休会の研究会；回路とシステム，情報理論，応用音響，非線形問題，VLSI設計技術，情報セキュリティ，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，技術と社会・倫理，安全性，スマートインフォメディアシステム，イメージ・メディア・クオリティ

◎通信ソサイエティ

研究会名	日	時	会 場	告頁
電子通信エネルギー技術 電子部品・材料	10日(金)	10:45~16:25	機械振興会館	4
インターネットアーキテクチャ	23日(木) 24日(金)	14:00~16:45 10:00~17:25	機械振興会館	5
光ファイバ応用技術 光エレクトロニクス	3月2日(金)	9:00~18:30	機械振興会館	7
無線通信システム ソフトウェア無線	3月7日(水) 8日(木) 9日(金)	9:00~17:55 9:00~18:15 9:00~18:20	横須賀テレコムリサーチパーク・YRPセンター1番館	8
宇宙・航行エレクトロニクス 衛星通信	16日(木) 17日(金)	13:00~18:20 9:00~12:35	三重大学	16
アンテナ・伝播	9日(木) 10日(金)	9:30~16:50 9:05~16:50	NHK 広島放送局	17

2月休会の研究会；環境電磁工学，ネットワークシステム，情報ネットワーク，通信方式，光通信システム，無線通信システム，コミュニケーションクオリティ，フォトニックネットワーク，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，モバイルマルチメディア通信，ソフトウェア無線，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日	時	会 場	告頁
電子部品・材料 電子通信エネルギー技術	10日(金)	10:45~16:25	機械振興会館	4
光エレクトロニクス 光ファイバ応用技術	3月2日(金)	9:00~18:30	機械振興会館	7
電子デバイス シリコン材料・デバイス	7日(火) 8日(水)	13:30~17:20 9:30~14:40	北海道大学・百年記念会館	前号
信頼性 機構デバイス	17日(金)	10:30~16:00	オムロンラーニングセンター	17
有機エレクトロニクス	17日(金)	11:00~17:35	産業技術総合研究所・九州センター	19

2月休会の研究会；磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電磁界理論，マイクロ波，集積回路，光エレクトロニクス，レーザー・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトニクス

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
ディペンダブルコンピューティング	13日(月)	10:00~16:45	機械振興会館	4
ソフトウェアインタプライズモデリング	24日(金)	13:00~16:40	機械振興会館	6
クラウドネットワークロボット	27日(月)	10:30~17:00	機械振興会館	6
人工知能と知識処理	28日(火)	11:00~17:10	京都大学・東京オフィス	7
画像工学 ITS	20日(月)	9:20~16:20	北海道大学・大学院・情報科学研究科	12
	21日(火)	9:20~16:00		
パターン認識・メディア理解 音声	9日(木)	10:30~18:10	東北大学・大学院・情報科学研究科	14
	10日(金)	9:00~18:00		
言語理解とコミュニケーション	2日(木)	12:30~16:45	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)	15
	3日(金)	9:15~16:40		

2月休会の研究会；MEとバイオサイバネティックス，ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，コンピュータシステム，コンピュータシミュレーション，ソフトウェアサイエンス，データ工学，ニューロコンピューティング，知能ソフトウェア工学，教育工学，医用画像，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
ヒューマン情報処理	9日(木)	12:30~17:20	リゾートホテル久米アイランド	18
	10日(金)	10:00~14:15		

2月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，マルチメディア・仮想環境基礎，福祉情報工学

◇第二種研究会開催案内

第28回情報ネットワーク・ネットワークシステム研究ワークショップ	3月7日(水)，8日(木)	宮崎フェニックス・シーガイア・リゾート	20
短距離無線通信研究会 (SRW)	3月8日(木)	横須賀リサーチパーク1号館	21
2012年情報通信マネジメントワークショップ	3月15日(木)	沖縄県男女共同参画センター「ていりる」	22

◇第二種研究会発表募集

第3回複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) 研究会	3月17日(土)	東京理科大学・神楽坂キャンパス	22
第3回超高速光エレクトロニクス研究会	3月19日(月)	東京大学・物性研究所 (柏キャンパス)	23

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 原田康也 副委員長 近藤公久

幹事 徳久雅人・佐良木 昌 幹事補佐 久保村千明・横野 光

日時 2月4日(土) 10:15~17:00

会場 機械振興会館地下3階2号室(港区芝公園3-5-8, 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題 大規模言語資源による言語知識獲得

- 複文理解における階層構造処理に関する神経機構の検討: fMRI 研究 ○岩測俊樹・乾 敏郎(京大)・小川健二(ATR)
 - ウィリアムズ症候群にみる認知的乖離現象とインクルーシブ教育の可能性 片田 房(早大)
 - 豊語の使用調査 ○中渡瀬秀一・大山敬三(NII)
- 午後
- 算数教育における横地・三角の『上から』原理と言語学におけるチョムスキーの『主要部パラメータ』原理の接点—福岡の小学校教師たちが数年間に渡って驚くべき成果を上げ続けている理由の認知言語学的分析— 柴田勝征(福岡大)
 - [招待講演] 英語構文・表現研究とコーパス 滝沢直宏(名大)
 - Princeton Annotated Gloss Corpus を用いた異言語の語彙概念の対応付け 林 良彦(阪大)
 - 古代ギリシャにおけるテキスト様式の成立過程—その二— イオニア散文とアッチカ散文との出現— 佐良木 昌(日大)
 - IJCNLP2011 参加報告 横野 光(NII)

【問合先】

佐良木 昌(日大)
E-mail: saraki@st.rim.or.jp

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 石原好之 副委員長 庄山正仁

幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 竹内 章

★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰

幹事 鳥村俊重・阿部克也 幹事補佐 圓佛晃次・佐藤知正

日時 2月10日(金) 10:45~16:25

会場 機械振興会館地下3階1号室

議題 電池技術関連, 一般

- 2相式4倍降圧カップルドインダクタコンバータの最適設計 ○松元賢斗・西嶋仁浩・佐藤輝被・鍋島 隆(大分大)
 - イオン液体を用いたリチウムイオン電池の研究 西川 慶・小島哲也・川瀬 誠・内藤 均(JAXA)
 - リチウムイオン電池の劣化モデルの一考察 ○中原 宏・青木智志・平田崇人・福井正博(立命館大)
- 午後
- [招待講演] 蓄電池の全固体化に向けて 菅野了次(東工大)
 - [招待講演] 大型リチウムイオン電池の開発

- リチウム空気電池用マンガン系酸化物電極触媒の開発 ○袁輪浩伸・林 政彦・林 克也・小林隆一(NTT)
- 亜鉛表面被覆によるアルカリ亜鉛二次電池の電気化学特性改善の試み ○山根友和・中田明良・平井敏郎・小久見善八(京大)
- 平板燃料極支持型セルを用いた中温動作型 SOFC スタックにおける高燃料利用率発電 ○水木琴絵・横尾雅之・大類姫子・渡部仁貴・林 克也(NTT)

◆IEEE Power Electronics Society Japan 共催

☆EE 研究会

【問合先】

竹内 章(NTT 環境エネルギー研究所)
TEL [0422] 59-2027, FAX [0422] 59-5682
E-mail: takeuchi.akira@lab.ntt.co.jp

☆CPM 研究会

【問合先】

鳥村俊重(NTT マイクロシステムインテグレーション研究所)
TEL [046] 240-2415, FAX [046] 240-2936
E-mail: shimamura.toshishige@lab.ntt.co.jp

★ディベンドブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 米田友洋 副委員長 梶原誠司

幹事 北神正人・中村友洋

日時 2月13日(月) 10:00~16:45

会場 機械振興会館地下3階6号室

議題 VLSI 設計とテスト及び一般

回路設計・ハードウェアトロイ設計

- デュアルエッジトリガフリップフロップの設計と信号遅延検知への応用 ○大川善大・三浦幸也(首都大東京)
 - AES 暗号回路におけるトロイ設計の影響評価 ○荻田英実・細川利典(日大)・吉村正義(九大)
- 低消費電力・遅延テスト・高精度欠陥推定
- パターンマージングによる遷移遅延故障用テストのパス遅延故障検出能力向上手法 ○田中広彬・宮瀬紘平・榎元和成・温 暁青・梶原誠司(九工大)
 - レイアウトを考慮した故障カバレッジの高精度見積りに関する一考察 ○新井雅之・清水貴弘・岩崎一彦(首都大東京)
 - 低電力 BIST におけるシフトグル率低減手法について ○加藤隆明・王 森レイ・宮瀬紘平・佐藤康夫・梶原誠司(九工大)

午後 テスト生成・テスト容易化設計(14:00~)

- バウンダリスキャンテストにおける新たな課題 ○亀山修一(富士通/愛媛大)・馬場雅之(富士通)・樋上喜信・高橋 寛(愛媛大)
 - 遷移故障テストパターン削減のための制御ポイント挿入法 ○高橋明彦・細川利典(日大)・吉村正義(九大)
 - 同期-非同期変換により得られた非同期式回路のテスト生成法 ○内田行紀・村田絵理(奈良先端大)・大竹哲史(大分大)・中島康彦(奈良先端大)
- ばらつき・フィールドテスト
- プロセスばらつき推定結果に応じた適応的な IDDQ テスト基準 ○新谷道広・佐藤高史(京大)
 - フィールドにおける劣化検知のための動的テストスケジュー

リング ○森永洋介・米田友和 (奈良先端大)・
李 賢彬 (ハンパツ大)・井上美智子 (奈良先端大)

11. フィールドテストのための温度・電圧推定回路の試作評価
○三宅庸資・佐藤康夫・梶原誠司・宮瀬紘平 (九工大)・
三浦幸也 (首都大東京)

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月2日(金), 3日(土) ホテル松島大観荘〔締切済〕
テーマ: 組込み技術とネットワークに関するワークショップ ET-
NET2012

5月28日(月)~30日(水) 北九州国際会議場〔未定〕
テーマ: LSI とシステムのワークショップ 2012

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

北神正人 (千葉大大学院融合科学研究科)

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

TEL & FAX [043] 290-3254

E-mail: kitakami@faculty.chiba-u.jp

◎最新情報は、DC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/index.html>

★超音波研究会 (US)

専門委員長 金井 浩 副委員長 橋本研也・蜂屋弘之

幹事 土屋隆生・三浦 光 幹事補佐 美谷周二朗

日時 2月23日(木) 10:10~16:40

会場 GEヘルスケア・ジャパン日野本社5階会議室(日野市旭
が丘4-7-127. JR中央線豊田駅(北口)下車, バス3平山工
業団地循環(8分)旭が丘4丁目下車徒歩1分, または豊田駅
より徒歩15分, タクシー5分. <http://japan.gehealthcare.com/cwcjapan/static/company/info/map.html> TEL [042]
585-3688 小笠原正文)

議題 アコースティックイメージング, 一般

- SLDV と空中放射音波を用いたコンクリート表層部の欠陥映
像化に関する研究 ○赤松 亮・
杉本恒美(桐蔭横浜大)・歌川紀之・辻野修一(佐藤工業)
- 音波振動による土壌中の水分分布計測に関する研究—水分分
布の鉛直方向検出に関する検討— ○中川 裕・
杉本恒美・白川貴志・佐野元昭(桐蔭横浜大)・澁澤 栄・
大幅元吉(東京農工大)

- 鏡面反射を利用した穿刺針イメージング
○神山直久・金山侑子(東芝メカトロシステムズ)
- 超音波断層画像のスペックル雑音低減のためのフィルタ処理
手法に関する検討 ○影山 奨・長谷川英之・
金井 浩(東北大)

午後

- 〔招待講演〕超音波計測と電気電子材料 櫛引淳一(東北大)
- コード化信号を用いた布背後にある物体上の微小振動の高精
度計測 ○干場功太郎・高山潤也・蜂屋弘之(東工大)
- 横方向変調法の任意スキミングへの応用
○炭 親良・山崎直人・石井陽介(上智大)
- 1次元センサアレイを用いた超音波画像化における Deconvo-
lution Filter の基礎検討 ○水谷享平・
杉本雅則(東大)・橋爪宏達(NII)
- Improvement of Synthetic Transmit Aperture 3D Acoustic

第一種研究会開催案内

Imaging Using Compensation of Transmitter's Radiation
Pattern ○Natsuda Laokulrat・

Masanori Sugimoto (Univ. of Tokyo)・
Hiromichi Hashizume (NII)

- 単眼カメラと超音波による高精度三次元位置認識手法
○蟹江教佳・中村成希・杉本雅則(東大)・橋爪宏達(NII)
- 超音波チョッパ・レーダーの提案 ○橋爪宏達(NII)・
杉本雅則(東大)

◆日本音響学会; 超音波研究委員会, アコースティックイメージ
ング研究会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

◎研究会終了後, 見学会を予定しておりますので, 御参加下さい。

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月 休会

4月26日(木) 日大理工学部駿河台キャンパス〔未定〕
テーマ: 一般

5月28日(月) 機械振興会館〔未定〕
テーマ: 一般

【問合せ先】

三浦 光(日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

土屋隆生(同志社大)

TEL & FAX [0774] 65-6638

E-mail: ttsuchiy@mail.doshisha.ac.jp

◎最新の情報は、US 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・飯田勝吉

幹事 衛藤将史・北辻佳憲

幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹

日時 2月23日(木) 14:00~16:45

24日(金) 10:00~17:25

会場 機械振興会館地下3階研修2号室

議題 省エネルギーと超高速ネットワーク, インターネットと環
境・エコロジー, 一般

23日 インターネットアーキテクチャ1

- 言語とネットワーク—デジタル言語学—
得丸公明(システムエンジニア)
- リングネットワーク用光パケット・光パス統合ノードの開発
○古川英昭・原井洋明・宮澤高也・藤川賢治・品田 聡・
和田尚也(NICT)
- VPN-based Future Internet that prevents routing table size
explosion (4)
Hisao Furukawa (DSRI)・
○Shoji Miyaguchi (formerly NTT)

インターネットアーキテクチャ2

- 次世代高効率ネットワークデバイス技術開発プロジェクト—
終了報告— ○浅見 徹(東大)・
池田尚哉(アタカラネットワークス)・西村信治(日立)・
尾中 寛(富士通)・並木 周(産総研)
- 省電力大規模エッジルータに向けた技術開発—NEDO プロ
ジェクト「次世代高効率ネットワークデバイス技術開発」成果
— ○辻 伸二・篠田和典・李 英根・
山下寛樹(日立/光電子融合基盤技研)・蔵田和彦

仁道正明・柳町成行 (NEC/光電子融合基盤技研)・
渡辺義則 (アラクサネットワークス)・日高睦夫・
鈴木秀雄 (国際超電導産技研センター/光電子融合基盤技研)・
石坂政茂 (NEC)・西村信治 (日立/光電子融合基盤技研)・
池田直哉 (アラクサネットワークス)・浅見 徹 (東大)

6. 次世代超高精細映像に向けた超高速 LAN-SAN システム化技術とその要素技術開発 ○並木 周 (産総研)・
尾中 寛・井出 聡 (富士通)・富澤将人 (NTT)・
石川 浩 (産総研)・田中 有 (富士通)・
有賀 博 (三菱電機)・江川 満 (富士通)・
黒須隆行 (産総研)・小山田公之 (NHK)・荒川泰彦・
浅見 徹 (東大)

24 日午前 インターネットアーキテクチャ 3

1. 最新データ配信のための再送制御型 TCP の開発と評価
○横山周太・山本 寛・山崎克之 (長岡技科大)
2. データストリームマネジメントシステムにおける映像ストリーム分割手法の提案と評価 ○神田景太・松浦知史・
猪俣敦夫・藤川和利 (奈良先端大)
3. EV 利用者の行動解析及び充電時刻の推薦による地域エネルギーシステムの効率化手法 ○岩淵志学・益子 宗・
星野准一 (筑波大)
4. 災害対策におけるコミュニケーション基盤フレームワークの一提案 ○小川康一・吉浦紀晃 (埼玉大)

24 日午後 招待講演

5. [招待講演] 情報通信技術の CO₂ 削減への貢献に関する考察
○島田淳一 (北陸先端大)・竹下晴子 (総務省)・
宇野裕太郎 (放送大)
6. [招待講演] 計算機を介した人と生態系のインタラクションの研究—イリオモテヤマネコの保全現場支援から被爆生態系の再生過程解明まで— ○小林博樹・崔 舜星・
安田真悟 (北陸先端大)・松浦知史 (奈良先端大)

インターネットアーキテクチャ 4

7. ワンセグと携帯連携によるエコツーリズム支援システムの開発と評価 ○石谷浩太郎・山本 寛・山本麻希・
山崎克之 (長岡技科大)
8. DTN 環境を考慮した高密度センサネットワークにおける収集率に応じたセンサデータ収集手法の提案と評価
○松高聡史・松浦知史・猪俣敦夫・藤川和利 (奈良先端大)
9. 超音波測距センサーによる積雪・降雪観測システムの検討
○味呑翔平・倉園博樹・山本 寛 (長岡技科大)・
中村勝一 (ネットワーク応用技研)・吉田雄一 (金井度量衡)・
山崎克之 (長岡技科大)

インターネットアーキテクチャ 5

10. コンテンツ人気遷移に追従する地理情報を用いた P2P クエリ処理最適化手法の提案 ○和田倫和・松浦知史・
猪俣敦夫・藤川和利 (奈良先端大)
11. 動的な広域分散型サーバシステムの問題点に関する考察
○神屋郁子・下川俊彦 (九州産大)
12. きずな衛星を用いた IP マルチキャスト機能実験
○中山雅哉 (東大)・朴澤佐智子 (JAXA)

◎23 日 17:00~19:00 に懇親会を行います。

☆IA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 15 日 (木), 16 日 (金) 石狩 [締切済] テーマ: インターネットと情報倫理教育, 一般

【問合先】

IA 研究会事務局 (京大術情報メディアセンター岡部研究室内)

TEL [075] 753-7417, FAX [075] 753-7440

E-mail : ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

★ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM)

専門委員長 堀米 明 副委員長 野地 保

幹事 片岡信弘・黒瀬 晋 幹事補佐 須栗裕樹・坂下善彦

日時 2 月 24 日 (金) 13:00~16:40

会場 機械振興会館地下 3 階 2 号室

議題 提案型エンタプライズモデリング, 一般

1. Applying Family Terms to the Vector Space Retrieval Model
Yoshihisa Udagawa (Tokyo Polytechnic Univ.)
2. 特許の拒絶通知に対応するためのシステムの試作
○今野亮介・須栗裕樹 (宮城大)
3. 異種クラウドサービスの仮想的統合 ○松田 篤・
須栗裕樹 (宮城大)
4. 古物商取引向けエンタプライズモデルの提案
○有野真史, 野地 保 (東海大)
5. クラウド型遠方監視制御システムの適用事例
宮西洋太郎 (ISEM)
6. インタプライズ創発の 1 工法 松本正雄 (ソリ研)

【問合先】

黒瀬 晋 (NEC)

E-mail : s-kurose@cd.jp.nec.com

片岡信弘 (東海大)

E-mail : kataoka9@tokai.ac.jp

★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 安西祐一郎 副委員長 萩田紀博・土井美和子

幹事 今井倫太・宮下敬宏

幹事補佐 富田仁志・小林優佳・中尾敏康

日時 2 月 27 日 (月) 10:30~17:00

会場 機械振興会館地下 3 階 2 号室

議題 クラウド型データ連携によるロボットサービス

1. 携帯電話センサによるリアルタイム生活行動認識とクラウド連携
○大内一成・土井美和子 (東芝)
2. バーチャル型ロボットシステムにおける高齢者向け情報提示方式の提案 長 健太 (東芝)
3. Service-Oriented Cloud Computing Architecture for Robotics: A Virtual Implementation
○Jeffrey Too Chuan Tan・Tetsunari Inamura (NII)
- 午後
4. [招待講演] パナソニックが進める高齢社会を元気にする Eco & Robot 事業
○本田幸夫・松川善彦・
進藤誠元 (パソニック)
5. ロボットのハードウェア構成を考慮したアプリケーション選定クラウドシステムの提案 ○加賀美崇紘・大澤博隆・
今井倫太 (慶大)
6. チューリングテストを用いたロボットの自律的振る舞い改善
○飛田国星・大澤博隆 (慶大)・山田誠二 (NII)・
今井倫太 (慶大)

7. Bluetoothによる屋内位置計測装置の開発 ○野間春生・多田昌裕・黒田知宏・竹村匡正 (ATR)
8. 異種分散センサの選択に基づくナビゲーションを可能とする移動ロボットフレームワーク 野口博史・○清田英寿・福井 類・下坂正倫・森 武俊・佐藤知正 (東大)
9. ネットワークロボット海外動向調査—2011年度欧州動向調査— ○土井美和子 (東芝)・萩田紀博 (ATR)

【問合先】

小林優佳 (東芝)
TEL [044] 549-2470, FAX [044] 549-2444
E-mail : yuka3.kobayashi@toshiba.co.jp

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 栗原 聡 副委員長 松原繁夫・菅原俊治
幹事 森山甲一・片上大輔

日時 2月28日 (火) 11:00~17:10

会場 京都大学東京オフィス会議室3 (港区港南2-15-1. 品川インターシティ A 棟 27 階. JR・京浜急行:品川駅より徒歩5分. <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.htm>)

議題 「クラウドソーシング」及び一般

- A case study of crowdsourcing for "Serendipity"
○Satoshi Hirade・Lin Heiki・Chin Kan・Yefeng Liu・Todorcka Alexandrova・Tatsuo Nakajima (Waseda Univ.)
- 位置情報を主体とした地域情報共有サービスの試行
○大塚孝信・鈴木 涼・伊藤孝行 (名工大)
- CrowdSourcing を用いた単語への読み付け及びアクセント付け
○芦川将之・西山 修・下郡信宏 (東芝)
- クラウドソーシングで変わるビジネス 東田圭介 (SCSK)
- Combining Crowdsourced Services with Web Services for QoS Improvement
○Donghui Lin (NICT)・Toru Ishida (Kyoto Univ.)・Yohei Murakami・Masahiro Tanaka (NICT)
- クラウドソーシングを用いた翻訳支援システム
○中島 悠・石田憲幸・石田 亨・西村拓哉 (京大)・齋藤啓二・藤本雅也・阿部泰之・関 真弓 (石田大成社)
- ビジネスプロセス可視化システムの提案 ○中川裕揮・永井明彦・伊藤孝行 (名工大)
- クラウドソーシングのためのメカニズムとしての予測市場とその応用 水山 元 (青学大)
- ソーシャルタグの単語分割による楽曲推薦
○安藤拓也・古宮嘉那子・小谷善行 (東京農工大)
- バイズ分類器による文書の有害確率を素性に用いたSVMによる有害文書分類手法 ○藤井雄太郎・吉村卓也・伊藤孝行 (名工大)

【問合先】

AI研究会幹事
E-mail : ai-staff@mail.ieice.org

★光ファイバ応用技術研究会 (OFT)

専門委員長 小倉邦男
幹事 伊藤文彦・椎野雅人 幹事補佐 小山 良・今村勝徳

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山内潤治 副委員長 清水健男
幹事 神徳正樹 幹事補佐 小川憲介・植之原裕行

日時 3月2日 (金) 9:00~18:30

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 一般

- 光ファイバ振動センサとその応用 ○熊谷達也・佐藤 忍・小松崎晋路・中村晃之 (日立電線)
 - 光ファイバセンサを用いた防災システムの開発
○嘉本健治・風間純一 (古河電工)
 - ヘテロコア光ファイバ型 SPR センサを用いるエタノール中ガソリン濃度の測定 ○佐々木博幸 (CSJ)・関 篤志・渡辺一弘 (創価大)
 - Characterization of Polymer Optical Fiber using Brillouin Scattering Signal
○Yosuke Mizuno (Tokyo Inst. of Tech.)・Philipp Lenke・Katerina Krebber (BAM)・Kentaro Nakamura (Tokyo Inst. of Tech.)
 - パルス光ブリルアン利得解析によるスプリッタ下部測定技術
○高橋 央・ファン シンユウ・古敷谷優介・伊藤文彦 (NTT)
 - 線形光サンプリング法を用いた DPSK 波長多重信号一括測定
○岡本達也・伊藤文彦・坂巻陽平・橋本俊和 (NTT)
- 午後 (13:35~)
- Stretched-Pulse Mode-locking using Graphene and Carbon Nanotubes ○Amos Martinez・Shinji Yamashita (Univ. of Tokyo)
 - 歪緩和バリア層に埋め込んだ Er 添加した InAs 量子ドットをもつ GaAs/AlAs 多層膜光共振器による超高速全光スイッチ
○森田 健・上山日向・北田貴弘・井須俊郎 (徳島大)
 - WDM/CDM 光ハイブリッドフィルタによる信号分岐の環境温度依存性 ○小林秀幸・佐々木健介・湊 直樹・岩村英志・齊藤洋之・鹿嶋正幸 (OKI)
 - ブラッグファイバにおける接続損失の解析
○中村祐介・左貝潤一 (立命館大)
 - 光フーリエ変換を用いた光可変遅延回路の構成法
○渡邊朋之・小野智彦・松浦基晴・グエン テクワン・來住直人 (電通大)
 - テルライトファイバへの屈折率変調グレーティング形成
○横田浩久・真野恭輔・小林資昭・今井 洋・佐々木 豊 (茨城大)・森 淳 (NTT)
 - 光ファイバ側方入射装置の治具化に関する検討
○廣田栄伸・納戸一貴・本田奈月・真鍋哲也・東 裕司 (NTT)
 - 集合住宅における光配線の動向 横川知行 (住友電工)
 - 低曲げ損失光ファイバの MPI 測定に関する検討
○深井千里・中島和秀・松井 隆 (NTT)
 - 低曲げ損失光ファイバの適用効果に関する一考察
○齊藤浩太郎・中島和秀・倉嶋利雄 (NTT)
 - ホールアシストファイバにおけるファイバビュース伝搬の孔径依存性 ○黒河賢二・半澤信智・辻川恭三・

富田 茂 (NTT)

◎11:45~11:50にOFT表彰を行います。

☆OFT研究会

【問合先】

今村勝徳 (古河電工)

TEL [0436] 42-1728, FAX [0436] 42-9340

E-mail: imamura.katsunori@furukawa.co.jp

◎OFT研究会では、2011年1月より「奨励賞」、「学生奨励賞」を新設しました。一般講演の中から選定しますので、積極的な御投稿をお願い致します。選奨規定については、OFTホームページを参照下さい。http://www.ieice.org/cs/oft/jpn/

☆OPE研究会

【問合先】

神徳正樹 (NTT フォトニクス研究所)

〒243-0198 厚木市森の里若宮 3-1

TEL [046] 240-4066, FAX [046] 240-4301

E-mail: kotoku@aecl.ntt.co.jp

小川憲介 (フジクラ)

〒285-8550 佐倉市六崎 1440

TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210

E-mail: kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田 4259 R2-43

TEL & FAX [045] 924-5038

E-mail: uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

◎OPE研究会ホームページ

http://www.ieice.or.jp/es/ope/

◎OPE研究会では、H18年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会HPを御覧下さい。

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 大鐘武雄 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 原 嘉孝・浅井孝浩

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・二木康則

★ソフトウェア無線研究会 (SR)

専門委員長 眞田幸俊 副委員長 阪口 啓・藤井威生

幹事 梅林健太・有吉正行

幹事補佐 亀田 卓・田久 修・石津健太郎

◎本研究会はRCS研究会とSR研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 3月7日 (水) 9:00~17:55

8日 (木) 9:00~18:15

9日 (金) 9:00~18:20

会場 横須賀テレコムリサーチパーク YRP センター1 番館 (A) YRP ホール, (B) 会議室 (横須賀市光の丘 3-4. 京浜急行線 YRP 野比駅からバス 10 分. 光の丘 5 番下車. http://www.yrp.co.jp/yrp/access/access.html)

議題 移動通信ワークショップ

7日午前 RCS1 (YRP ホール) (9:00~10:40)

RCS-1. MIMO-OFDMにおける2ステップQRM-MLDの効果

○天間克宏・山本哲矢・安達文幸 (東北大)

RCS-2. 2ステップQRM-MLブロック信号検出を用いるシングルキャリアMIMO多重伝送 ○高須満彦・天間克宏・

山本哲矢・安達文幸 (東北大)

RCS-3. MIMO-OFDM伝送のターボ符号誤り訂正効果

金見代勇輝 (元千葉工大)・○五十嵐翔太・

小園 茂 (千葉工大)

RCS-4. 軟判定値出力LRA-MIMO復号器の性能改善に関する一検討 ○野島大輔・レオナルド ラナンテ・長尾勇平・

黒崎正行・尾知 博 (九工大)

RCS2 (YRP ホール) (10:50~12:05)

RCS-5. THP Scheme with reduced noise enhancement for Multi-User MIMO Systems ○Shogo Fujita・

Leonardo Lanante Jr.・Yuhei Nagao・Masayuki Kurosaki・

Hiroshi Ochi (Kyushu Inst. of Tech.)

RCS-6. Multiuser MIMO Modulation Transparency in 3GPP LTE-A: A Capacity Perspective ○Oussama Souihli・

Tomoaki Ohtsuki (Keio Univ.)・Bruno Melis・

Marco Caretti (TI Lab)

RCS-7. シングルユーザ/マルチユーザMIMOを用いた無線メッシュネットワークの性能解析 ○楠本博則・

岡田 啓・小林健太郎・片山正昭 (名大)

7日午後 RCS3 (YRP ホール) (13:00~15:05)

RCS-8. TDD上りリンクMIMO非直交アクセスにおけるチャネル行列の特異値分解に基づくプリコーディング情報の高効率フィードバック方法 ○竹田朋弘 (東京理科大)・

木村良平・中尾正悟 (パソニック)・樋口健一 (東京理科大)

RCS-9. 巡回シフトCDMAを用いる制御チャネルにおける4アンテナの開ループ型送信ダイバーシチの特性比較

○彦坂悠一郎 (東京都市大)・川村輝雄 (NTTドコモ)・

田岡秀和 (ドコモ欧州研)・佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-10. Considerations on Reduced-Complexity Single-Carrier E-SDM for Wideband Transmissions

○Cristian Davidescu・Yasutaka Ogawa・

Toshihiko Nishimura・Takeo Ohgane (Hokkaido Univ.)

RCS-11. OFDMを用いた上り回線仮想MIMOシステムにおける周波数オフセット推定とその補償 ○小林拓也・

小川恭孝・西村寿彦・大鐘武雄 (北大)

RCS-12. マルチアンテナシステムにおける周波数相関に関する検討 ○山口歌奈子・小川恭孝・西村寿彦・

大鐘武雄 (北大)

RCS4 (YRP ホール) (15:15~16:30)

RCS-13. USRPによって実現したマルチユーザMIMO屋外伝送実験用5GHz帯移動局装置 ○篠原 諒・

村田英一・吉田 進・山本高至 (京大)・

梅原大祐 (京都工繊大)・田野 哲 (岡山大)・

守倉正博 (京大)

RCS-14. マルチユーザMIMOにおけるユーザスケジューリングの実験的検討 ○永野裕規・村田英一・吉田 進・

山本高至 (京大)・梅原大祐 (京都工繊大)・

田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)

RCS-15. マルチユーザMIMO伝送実験に用いる5GHz帯基地局装置と特性 ○谷口真人・村田英一・吉田 進・

山本高至 (京大)・梅原大祐 (京都工繊大)・

田野 哲 (岡山大)・守倉正博 (京大)

RCS5 (YRP ホール) (16:40~17:55)

RCS-16. カオス MIMO のカオス進行数可変による伝送誤り率特性改善に関する検討 岡本英二 (名工大)

RCS-17. シングルキャリア双方向中継通信における MIMO アンテナネットワーク符号化のための送受信協調 MMSE-FDE に関する一検討 ○宮崎寛之・中田雅之・小原辰徳・安達文幸 (東北大)

RCS-18. MIMO 周波数選択性通信路に於けるシングルキャリア伝送を用いた等化方式の比較検討 ○子安直也・高橋裕也・岩波保則 (名工大)

7 日午前 SR1 (会議室) (9:00~10:40)

SR-19. TV White Space Technology Trial for The NICT TV Band Device Prototype ○Chunyi Song・

Mohammad Azizur Rahman・Hiroshi Harada (NICT)

SR-20. Television White Space Channel Measurement and Characterization in Short-Range Outdoor Environment

○M. Azizur Rahman・Chunyi Song・Ming-Tuo Zhou・Hiroshi Harada (NICT)

SR-21. Broadband Indoor TVWS Channel Measurement and Characterization at 670 MHz ○Ming-Tuo Zhou・

Chunyi Song・M. Azizur Rahman・Hiroshi Harada (NICT)

SR-22. 海外における TV ホワイトスペース利用システムにおける検討状況と今後の展開 ○原田博司・村上 誉・

Yohannes D. Alemseged・Chen Sun・Tuncer Baykas (NICT)

SR2 (会議室) (10:50~12:05)

SR-23. An Enhanced Feature Detection Method for DTV Signals by Detecting Aggregation of Correlation Peaks

○Chunyi Song・アジズル ラハマン・Hiroshi Harada (NICT)

SR-24. 802.11 システム運用中における同一周波数の他の無線システム検出 ○石津健太郎・村上 誉・原田博司 (NICT)

SR-25. 協調スペクトルセンシングのプロトコルに関する一検討 ○木村長夫・佐々木重信 (新潟大)

7 日午後 SR3 (会議室) (13:00~15:05)

SR-26. ランダム行列理論を用いたスペクトラムセンシング

張 文勝・○稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)

SR-27. ISM 帯の周波数資源有効利用に向けた DSA システムの研究開発 ○矢野一人・大島浩嗣・塚本悟司・

宮坂朋宏・佐藤 幹・中本成洋・北沢祥一・岡 智広・

多田昌裕 (ATR)・相河 聡 (兵庫県立大/ATR)・

宇野雅博・小林 聖 (ATR)

SR-28. WiFi in TVWS—An overview of IEEE 802.11af

○Zhou Lan・Chen Sun・Yohannes Alemseged・Gabriel Villardi・Ha-Nguyen Tran (NICT)

SR-29. 未定 佐々木重信 (新潟大)

SR-30. 周波数共用におけるスペクトラムエンジニアリングの実例と将来像 梅比良正弘 (茨城大)

SR4 (会議室) (15:15~16:30)

SR-31. ISM 帯 DSA システムにおける QoS を考慮したチャンネルアクセス制御方式の検討 ○大島浩嗣・矢野一人・

宮坂朋宏・宇野雅博・小林 聖 (ATR)

SR-32. TV ホワイトスペースを利用するコグニティブ無線のためのガードバンドアグリゲーション方式の提案

○柳沼紀亨・梅比良正弘 (茨城大)

SR-33. オーバーラップ FFT フィルタバンクを用いたスペクトル分割チャンネルアクセス方式の PAPR 特性

○西沢拓也・佐藤貴則・梅比良正弘 (茨城大)

SR5 (会議室) (16:40~17:55)

SR-34. コグニティブ無線におけるオーバーラップ FFT フィルタバンク方式を用いた OFDMA 信号の隣接チャネル干渉低減法 ○太田智規・梅比良正弘 (茨城大)

SR-35. Introduction to Recent Activities in IEEE 802.22 Standardization ○M. Azizur Rahman・

Chang Woo Pyo・Xin Zhang・Chunyi Song・

Hiroshi Harada (NICT)

SR-36. ヘテロジニアス型コグニティブ無線技術における RAN 情報を活用したトラフィック制御の効率化手法

○村上 誉・石津健太郎・原田博司 (NICT)・

勝間田賀章・西野 大 (NTTPC)

8 日午前 SR1 (YRP ホール) (9:35~11:15)

SR-1. Hamming 符号化した空間多重信号の分離方法に関する一検討—1 受信アンテナ MIMO-OFDM の提案—

○栗原宏季・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)

SR-2. Trellis 符号化した空間多重信号の分離方法に関する一検討—1 受信アンテナ MIMO-OFDM システムの提案—

眞田幸俊 (慶大)

SR-3. 送信ビームフォーミングを用いた MIMO 双方向中継の実験 ○ヴァ ヴッター・水谷圭一・阪口 啓・

荒木純道 (東工大)・宮本健宏 (NDK)

SR-4. HF 受信用 RF サンプリング SDR ○横野 聡・逆井孝英 (JRC)

8 日午後 特集セッション「無線通信の将来システム・アプリケーションとその標準化動向」(13:00~18:15)

SRW-5. [招待講演] ワイヤレススマートユーティリティネットワーク (WiSUN) 標準規格 IEEE802.15.4g/4e の概要

原田博司 (NICT)

SRW-6. [招待講演] 次世代高速無線 LAN 標準規格 IEEE802.11ac の概要 浅井裕介 (NTT)

共通-7. [招待講演] 3GPP 標準化動向 中村武宏 (NTT ドコモ)

共通-8. [招待講演] ITU-R 標準化動向—RA-12, WRC-12 の結果と今後— 吉野 仁 (ソフトバンクモバイル)

共通-9. [招待講演] 広域センサーネットワーク (WASN) システムに関する ITU-R での標準化活動 ○清水孝孝・

藤田隆史 (NTT)

共通-10. [招待講演] IMT システムに関するサービスと市場の将来動向について—Report ITU-R M. [IMT.UPDATE] の紹介—

○小西 聡 (KDDI 研)・高野祐美子 (KDDI)

8 日午前 RCS1 (会議室) (9:00~10:15)

RCS-11. LTE における End-to-End 伝送遅延の解析

○永井泰裕・張 亮・岡廻隆生・藤井輝也 (ソフトバンクモバイル)

RCS-12. LTE-Advanced 下りリンク開ループ型送信ダイバーシティ適用時におけるセル間干渉を抑圧する受信器に関する検討

○大渡裕介・三木信彦 (NTT ドコモ)

RCS-13. LTE-Advanced 上りリンク CoMP におけるパイロット信号構成の比較検討 ○武田一樹・西尾昭彦・

岩井 敬・小川佳彦・今村大地 (パナソニック)

午前 RCS2 (会議室) (10:25~12:05)

RCS-14. LTE-Advanced Channel Selection におけるランクアダプテーション適用時の ACK/NACK ビット誤り率特性の改善

○大泉 透・今村大地 (パナソニック)

RCS-15. LTE-Advanced における 1 Gbps を実現する下りリンク 4-by-2 MU-MIMO の CSI フィードバックの量子化ビット数に関する室内実験結果 ○柿島佑一・川村輝雄・

- 岸山祥久 (NTT ドコモ)・田岡秀和 (ドコモ欧州研)・
安藤英浩 (NTT ドコモ)
- RCS-16. DFT-precoded OFDMA を用いる共有チャネルにおける
4 アンテナの開ループ型送信ダイバーシチの特性比較
○トウ煉軍 (東京都市大)・川村輝雄 (NTT ドコモ)・
田岡秀和 (ドコモ欧州研)・佐和橋 衛 (東京都市大)
- RCS-17. IDMA を用いた小パケット通信における性能評価
○松本知子・畑川養幸・小西 聡 (KDDI 研)
- 9 日午前 RCS1 (YRP ホール) (9:00~10:15)
- RCS-1. CP 挿入を必要としないジョイント周波数領域等化・ス
ベクトル合成を用いるシングルキャリア伝送のスループット特
性 ○小原辰徳・安達文幸 (東北大)
- RCS-2. サイクリックプレフィックス挿入を行わないシングル
キャリア伝送における繰り返し Overlap QRM-ML ブロック信
号検出 ○諸我英之・山本哲矢・安達文幸 (東北大)
- RCS-3. IBI cancellation and CP restoration in DS-CDMA uplink
transmission Using Frequency-domain Equalization
○Min Zheng・Wei Peng・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
- RCS2 (YRP ホール) (10:25~12:05)
- RCS-4. マルチユーザ分散アンテナシステムにおける上下リンク
双対性を前提とした分散送信電力制御の特性評価
○熊川成正・山本高至・村田英一・吉田 進 (京大)・
梅原大祐 (京都工繊大)・田野 哲 (岡山大)・
守倉正博 (京大)
- RCS-5. 上りリンク SC-FDMA 分散アンテナネットワークにお
けるナッシュ交渉解に基づく周波数割り当て法
○佐藤勇輔・松川隆介・小原辰則・安達文幸 (東北大)
- RCS-6. Study on the capacity performance of distributed
antenna by using frequency domain adaptive antenna array
○Peng Wei・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
- RCS-7. Uplink Capacity Using Frequency Domain Adaptive
Antenna Array of Cellular system with Hybrid FRF
○Sri Maldia Hari Asti・Wei Peng・
Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
- 9 日午後 SR (YRP ホール) (13:00~14:40)
- SR-8. Symbol Rate Estimation utilizing Spectral Correlation for
Automatic Modulation Classification ○Azril Haniz・
Md. Abdur Rahman・Minseok Kim・
Jun-ichi Takada (Tokyo Inst. of Tech.)
- SR-9. 携帯端末を用いた不正行為検出のための屋内位置推定方
式 ○佐野健太郎・渡邊将博・阪口 啓・
荒木純道 (東工大)・林 大介・荒田慎太郎 (光電製作所)
- SR-10. ホワイトスペース二次利用に向けた広帯域伝送路推定に
関する検討 ○西本 浩・岡崎彰浩・
久保博嗣 (三菱電機)
- SR-11. 繰り返し干渉除去を用いた Fractional Sampling OFDM
受信方式による非直交マルチアクセス方式の一検討
○長田博行・稲森真美子・眞田幸俊 (慶大)
- RCS3 (YRP ホール) (14:50~16:30)
- RCS-12. アクセスポイントを共用する無線アクセスネットワー
クにおける省電力制御方式の特性評価 ○流田理一郎・
長谷川晃朗・柴田達雄・大橋正良 (ATR)
- RCS-13. 無線 LAN ネットワークにおける隣接チャネル干渉の
スループット特性への影響 ○佐々木耶那・
梅比良正弘 (茨城大)
- RCS-14. IEEE 802.11ah を用いたスマートメータシステムにお
けるスループット特性 ○小川浩平・守倉正博・
山本高至 (京大)
- RCS-15. 受信電力及び過去の履歴情報を考慮した経路発見方式
の検討 ○海沼義弘・三澤英幸・大田健紘・
松江英明 (諏訪東京理科大)
- RCS4 (YRP ホール) (16:40~18:20)
- RCS-16. FFR を用いた基地局連携のチャネル推定誤差環境下
における特性評価 ○丸田一輝・太田 厚・飯塚正孝・
杉山隆利 (NTT)
- RCS-17. 複数インターフェースを利用した並列通信手法の実
ネットワークにおける検証 ○湧川裕太・
宮里智樹 (琉球大)
- RCS-18. 離島における固定 WiMAX の効果的利用を目的とした
複数無線混合型ネットワークの構築と検証
○仲宗根朝哉・宮里智樹 (琉球大)
- RCS-19. A new intelligent radio resource management techni-
que for Heterogeneous wireless Networks
○Abolfazl Mehdodniya・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)
- 9 日午前 RCS1 (会議室) (9:00~10:15)
- RCS-20. 車車間通信における複数端末同時送信環境への Inter-
ference Alignment の適用とその性能評価
○清水崇之 (同志社大)・横山明久 (Toyota ITC USA)・
岩井誠人 (同志社大)
- RCS-21. Linear Interference Alignment for Arbitrary Discrete
Delay ○Chenggao Han (Univ. of Electro-Comm.)・
Lizhong Zheng (MIT)・
Takeshi Hashimoto (Univ. of Electro-Comm.)
- RCS-22. K ユーザ MIMO 干渉チャネルにおける干渉空間の基底
ベクトルの回転を考慮したチャネル係数デザイン手法
○松村一平・大槻知明 (慶大)
- RCS2 (会議室) (10:25~12:05)
- RCS-23. ドップラーシフトに基づくバイスタティック 3 周波
CW レーダによる人の位置推定アルゴリズム
○岡本佳久・大槻知明 (慶大)
- RCS-24. フォワードリンク, リバースリンク受信電力測定に基
づく UHF 帯パッシブ RFID タグ近接時の通信距離変化の解析
○奥島大幸・榎田洋太郎 (東京理科大)・田久 修 (信州大)
- RCS-25. フォトダイオードを用いた可視光通信とイメージセン
サを用いた写真測量による
○青木一将 (慶大)・
内山英昭 (フランス国立情報学自動制御研)・
永元直樹 (三井住友建設)・春山真一郎・大槻知明 (慶大)
- RCS-26. TOF イメージセンサを用いた可視光通信と写真測量に
よるトンネル内移動体位置計測 ○逸見 悠 (慶大)・
内山英昭 (フランス国立情報学自動制御研)・掛橋孝夫・
永元直樹 (三井住友建設)・春山真一郎・大槻知明 (慶大)
- 9 日午後 RCS3 (会議室) (13:00~14:40)
- RCS-27. 満足度を考慮したヴィックレイオークシオンに基づく
スペクトルリソース協調 ARQ 通信 ○山田拓也・
大槻知明 (慶大)
- RCS-28. Non-Binary Rate-Compatible-Punctured LDPC 符号化
Type II Hybrid-ARQ リレー伝送方式のスループット特性の評
価 ○田中宏典・岩波保則 (名工大)・山田良太・
岡本直樹 (シャープ)
- RCS-29. 適応変調割り当てを用いる上りリンクシングルキャリ
ア直接・協調 DF リレー切り替え通信のスループット特性
○木村和裕・中田雅之・小原辰徳・安達文幸 (東北大)

RCS-30. マルチセル環境下における直接・協調リレー切り替えを用いる上りリンクシングルキャリア協調 AF リレーのチャネル容量
○中田雅之・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸（東北大）

RCS4（会議室）（14：50～16：30）

RCS-31. 既知系列を利用したシングルキャリア伝送における周波数領域繰り返しチャネル推定に関する検討
○山本哲矢・安達文幸（東北大）

RCS-32. MSE analysis and throughput performance of pilot-assisted channel estimation scheme for OFDM ANC systems
○Iulia Prodan・Tatsunori Obara（Tohoku Univ.）・Haris Gacanin（ALU）・Fumiyuki Adachi（Tohoku Univ.）

RCS-33. 周波数領域時空間符号化送受信ダイバシティに関する理論検討
○松川隆介・小原辰徳・安達文幸（東北大）

RCS-34. シングルキャリア MIMO 空間多重における送受信協調 MMSE フィルタリング
○熊谷慎也・松川隆介・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸（東北大）

午後 RCS5（会議室）（16：40～17：55）

RCS-35. 最大平坦 IIR ローパスフィルタを用いた ANC-EPWM 送信法の特性
○岩城晃二・横澤真介・山尾 泰（電通大）

RCS-36. スイッチング動作型送信機の応用へ向けたトランスバーサルフィルタ型電力増幅器の検討
○小島通彰・和泉宏典・榎田洋太郎（東京理科大）・田久 修（信州大）

RCS-37. 包絡線パルス幅変調送信機と三値出力直交アップコンバージョン型送信機における特性比較
○和泉宏典・小島通彰・榎田洋太郎（東京理科大）・田久 修（信州大）

◆短距離無線通信研究会（SRW）併催

☆RCS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5月17日（木）、18日（金）東工大蔵前会館〔未定〕テーマ：ワイヤレスインターネット、マルチホップネットワーク、メッシュネットワーク、ネットワーク符号化、クロスレイヤ技術、無線通信及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

樋口健一（東京理科大）

E-mail：rscs_ac-entry@mail.ieice.org

☆SR 研究会

【問合先】

石津健太郎（NICT）

TEL [046] 847-5098, FAX [046] 847-5110

E-mail：ishidu@nict.go.jp

◎最新情報は SR 研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/sr/jpn/>

★システム数理と応用研究会（MSS）

専門委員長 平石邦彦 副委員長 中村祐一

幹事 中村正樹・山口真之介 幹事補佐 西脇大輔

日時 3月8日（木） 13：30～17：45

9日（金） 9：30～14：40

会場 北陸先端科学技術大学院大学東京キャンパス（港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 19 階。JR 東海道本線・横須賀線・山手線・京浜東北線/JR 東海道新幹線：品川駅港南口

第一種研究会開催案内

徒歩 3 分。京浜急行線：品川駅高輪口 徒歩 5 分。 <http://www.jaist.ac.jp/satellite/sate/access/index.html> TEL [03] 5460-0831 平石邦彦

議題

8 日

1. コントローラの起動に関する評価を考慮した self-triggered 予測制御
○中尾将吾・潮 俊光（阪大）
2. 事象と状態の観測に基づく非決定離散事象システムの双模制御
○木村克行・野村雅司・高井重昌（阪大）
3. AND ルールを用いた離散事象システムの分散型診断における共可診断性の検証
○山本 聖・高井重昌（阪大）
4. 仮想実験環境を用いた看護・介護サービスにおける音声つばやきコミュニケーションの評価実験について
○崔 舜星・平石邦彦（北陸先端大）・内平直志・鳥居健太郎・田中俊明（東芝）・平林裕治（清水建設）
5. バイズフィルタと決定木分類による併用メールフィルタの判定方式の改善と効果
○山口博之・杉井 学・松野浩嗣（山口大）
6. シグナル伝達経路の性質に基づく時間ベトリネットのトークン滞留なし条件の検討
○村上祐樹・葛 崎偉・松野浩嗣（山口大）
7. C 言語からベトリネットマークアップ言語への変換ツール C2PNML とその応用例
○谷口博彬・山口真悟・洲崎武史（山口大）
8. CPN Tools によるシングルカーマルチャフトエレベータシステムのモデル化法とその応用
○石田憲秀・上田滝平・山口真悟（山口大）
9. [招待講演] GPGPU のビジネスへの適用
加藤公一（日本エニシ）

9 日午前

1. [招待講演] サービスサイエンスからの数理技術への期待
神田陽治（北陸先端大）
2. [招待講演] システム論的生命ネットワーク解析の数理と応用
堀本勝久（産総研）
3. [招待講演] システム数理基礎理論 辻 孝吉（愛知県立大）

9 日午後

4. コンシェルジュサーバを持つ電話システムの形式的検証
黒野恵人・前田 彩・河辺義信（愛知工大）
5. AGV による多種多数の搬送が混在する FA システムにおける稠密状況下の搬送と工程進捗の MFG モデル
高橋宏治・山村憲司（東工大）
6. PBIL と厳密解法の融合による繰返しスケジューリング問題の解法
○栗國信治・官 森林・名嘉村盛和（琉球大）
7. 多目的評価尺度による安定マッチング問題
○金城秀樹（沖縄大）・名嘉村盛和（琉球大）

【問合先】

中村正樹（富山県立大）

TEL [0766] 56-7500（内線 639）

E-mail：masaki-n@pu-toyama.ac.jp

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀧裕真 副委員長 堀内浩規・児島史秀
幹事 藤井雅弘・高取祐介 幹事補佐 羽多野裕之・大野光平

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久
幹事 内藤 整・久保田 彰
幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

日時 2月20日(月) 9:20~16:20
21日(火) 9:20~16:00

会場 北海道大学大学院情報科学研究科(札幌市北区北14条西
9丁目。札幌市営地下鉄南北線:北12条駅下車徒歩10分。
http://www.ist.hokudai.ac.jp/access TEL [011] 706-6077
長谷山美紀)

議題 ITS 画像処理, 映像メディア, 視覚及び一般

20日午前 画像・メディア(1) (9:20~10:40)

1. Dimensionality Reduction of Sparse Visual Features via
Recoverable Projection for Large-Scale Image Retrieval
○Zaixing He・Takahiro Ogawa・
Miki Haseyama (Hokkaido Univ.)

2. 数値予報における予報誤差の解析の高精度化に関する検討
○高橋信太郎・小川貴弘・長谷山美紀(北大)

IE-3. Dynamic Coalescence Model の高速化に関する一考察
○海田 健(大島高専)・北島秀夫・長谷山美紀(北大)・
富田真吾(山口大)

IE-4. カラー画像の大まかな領域分割における領域数の自動決
定
○藤原正智・島 享平・石倉尚弥・
前田純治(室蘭工大)

画像・メディア(2) (11:00~12:20)

5. 可視光成分と近赤外光成分が重畳された画像の色補正—自然
画像の色成分を教師画像として用いた色変換の検討—
○和泉大佑・小川貴弘・長谷山美紀(北大)

6. ぶれによる劣化画像の高精度な復元に関する検討—エッジ方
向を考慮した重み付けパラメータの原画像の事前確率への導入
によるリンギングの抑制—
○吉崎 茜・和泉大佑・
小川貴弘・長谷山美紀(北大)

IE-7. An adaptive thinning algorithm for sketch images based on
Gaussian Scale Space
○Houssem Chatbri・
Keisuke Kameyama (Univ. of Tsukuba)

IE-8. 大域的な特徴量に着目したブロック重み付きシームカー
ビング
○岡崎拓威・伊藤 泉・西原明法(東工大)

20日午後 画像・メディア(3) (13:20~14:40)

IE-9. 多視点奥行きマップの統合による自由視点映像通信の効
率化
○石川彰夫・三功浩嗣・内藤 整(KDDI 研)

10. 群れ制御インターフェースにおける群れ行動生成に関する一
検討
○佐藤歩夢・青木輝勝(東北大)

IE-11. 多視点画像間の対応点が不要な超解像方式の検討
○蘭邊彩範・久保田 彰(中大)

IE-12. 単眼カメラを搭載したラジコンヘリコプターを用いた全
周パノラマ画像の生成
○野村憲司(同志社大)・
斎藤康毅(チムラボ)・片桐 滋(同志社大)

画像・メディア(4) (15:00~16:20)

13. 移動方向を考慮した道路映像中のシカ検出の高精度化に関す

る検討 ○桂井麻里衣・小川貴弘・長谷山美紀(北大)

14. 顕微鏡画像を用いたSVDDによる深海底生物の分類体系の
推定法
○長谷川克史・小川貴弘・渡邊日出海・
長谷山美紀(北大)

IE-15. 粒子フィルタと最小分類誤り学習を用いた映像オブジェ
クト追跡法の検討
○中村淳一・片桐 滋・
大崎美穂(同志社大)

IE-16. 注視モデルに基づく画像内の顕著な領域の自動検出
○岡田俊久・石飛次郎・前田純治(室蘭工大)

20日午前 ヒューマンインフォメーション(9:20~10:40)

17. 顔特徴点の3次元動的変位情報による表情の識別
○岩佐香織・山本俊太・稲葉善典・赤松 茂(法政大)

18. Gabor 特徴を用いた顔画像からの年齢層識別—加齢による影
響の大きさにもとづく特徴選択の検討—
○浅賀亮平・
黒田隆史・菅田幸希・稲葉善典・赤松 茂(法政大)

19. 顔画像認知時における眼球運動計測による比較
○中村夏子・石曾根弥生・稲葉善典・赤松 茂(法政大)

20. 仮想空間における空間認知と眼球運動
○上中亮佑・
蘆田 宏(京大)

映像表現&コンピュータグラフィクス(11:00~12:20)

21. 拡張現実感における画像修復に基づく陰影を考慮したマーカ
の除去
○山崎将由・河合紀彦・佐藤智和・
横矢直和(奈良先端大)

22. 重量表示のための広視野虚像ディスプレイの検討
○島津航介・圓道知博(長岡技科大)

23. 視点追従型光線再現ディスプレイの検討
○安達祐樹・
圓道知博(長岡技科大)

24. 航空ショーにおける飛行機の3DCGアニメーション作成法
○熊谷一生・青木輝勝(東北大)

20日午後 ITS(1) (13:20~14:40)

ITS-25. 路車間可視光通信のための符号間干渉の除去手法
○笠嶋達也・山里敬也・岡田 啓・藤井俊彰(名大)・
圓道知博(長岡技科大)・荒井伸太郎(香川高専)

ITS-26. 空間光通信イメージセンサによる車車間通信システム
の開発
○高井 勇・原田知育・安藤道則(豊田中研)・
川人祥二(静岡大)

ITS-27. 道路網距離でのANN検索方式
○トウトウ・
大沢 裕(埼玉大)

ITS-28. 3次元中性子トモグラフィ法を用いた炭素煤堆積非破壊
計測法の開発
○松島宏典・江崎昇二(久留米高専)・
内村圭一(熊本大)・Cotton Jim (マクマスタ大)・
Harvel Glenn (ワシントン工科大)

ITS(2) (15:00~16:20)

ITS-29. 車載無線通信の市街地における衝突防止ケーススタ
ディ
○坪井 務(東大)・松本徳博・市川広輝・
山田 出(日立JTE)

ITS-30. 屋外環境三次元モデル化のための三次元点群からの輝
度変化に基づく移動物体上の点の検出
○金谷典武(兵庫県立工技センタ)・奈良先端大)・
武富貴史・佐藤智和・横矢直和(奈良先端大)

ITS-31. 車線特徴に基づく視界不良に対応したリアルタイム車
線追跡
○岩城圭哉・高橋裕樹(電通大)

ITS-32. 機械学習を用いた屋外カメラによる駐車場監視システ
ムの開発
○前 佑樹・波部 斉・
柴田智広(奈良先端大)

21日午前 画像・メディア(5) (9:20~10:40)

1. コネクティッドスタジオの試作—多人数仮想参加型番組生成システム—
○道家 守・金子浩之・浜口斉周・井上誠喜 (NHK)

2. 視覚障害者向けの商品情報取得支援システム—カメラ画像からの消費期限の抽出—
○田中伸人・松本哲也・竹内義則・工藤博章・大西 昇 (名大)

3. 顔認識による過去に会った人物の情報提示システム
○田中健太・松本哲也・竹内義則・工藤博章・大西 昇 (名大)

IE-4. 顔の動きを利用したユーザーインタフェース
寺井大樹 (法政大)

画像・メディア(6) (11:00~12:20)

5. 視聴動作から推定される関心度を用いたユーザクラスタリングに関する検討
○白石哲夫・小川貴弘・長谷山美紀 (北大)

6. 有害コンテンツ自動判定のための画像解析手法に関する研究
○松本大輔・青木輝勝 (東北大)

7. A note on the application of Web information to near-duplicate online video detection
○Michael Penkov・Takahiro Ogawa・Miki Haseyama (Hokkaido Univ.)

IE-8. 改ざん画像におけるアフィン変換を伴う部分複製の検出
○富澤 圭・松本哲也・工藤博章・竹内義則・大西 昇 (名大)

21 日午後 画像・メディア(7) (13:20~14:40)

9. DCT と DST を適応的に用いたインター符号化
○市ヶ谷敦郎・杉藤泰子・境田慎一 (NHK)

IE-10. フルエンシ DA 関数系によるアニメーションの輪郭・濃淡情報の適応的符号化
○大原和人・片岸一起 (筑波大)

IE-11. 圧縮限界を考慮した擬似表現符号化法
○荒井みどり・上田敦史・稲積泰宏・堀田裕弘 (富山大)

12. HEVC 符号化における変換基底の改善
○杉藤泰子・市ヶ谷敦郎・境田慎一 (NHK)

画像・メディア(8) (15:00~16:00)

13. 食品写真を対象としたコンテンツ知覚特性の評価とその応用
○富士原正彦・青木輝勝 (東北大)

IE-14. 遠隔画像診断のための SVC 符号化された心臓超音波画像の主観画質評価
○高木基宏・藤井 寛 (NTT)・小山耕太郎 (岩手医科大)・大平 隆・柿沼博一 (NTT 東日本)・藤野雄一 (公立はこだて未来大)・澤井高志・猪飼秋夫 (岩手医科大)

15. スーパーハイビジョン 85 インチ LCD を用いた好ましい視距離と臨場感・実物感の主観評価
○日下部裕一・正岡顕一郎・近藤いさお・西田幸博・菅原正幸 (NHK)

21 日午前 ITS(3) (9:20~10:20)

ITS-16. 顔表情からの眠気評定特性を考慮した被験者に依存しないドライバ状態分類
○土田 歩・河中治樹・小栗宏次 (愛知県立大)

ITS-17. 車載ネットワークを用いた運転データの収集と車種による運転行動の違いの分析
○石川博章・宮島千代美・北岡教英・武田一哉 (名大)

ITS-18. マルチエレメント GA による道路交通信号パラメータの最適化と実環境における検証
○西原稔貴・I Gede Pasek Suta Wijaya・松元駿太・上瀧 剛・内村圭一 (熊本大)・杉谷 浩・石垣信一 (ネットワーク応用技研)

画像・メディア(9) (11:00~12:20)

19. アマチュアサッカーチームの試合映像における重要場面の検

出—コーチングを目的として映像に付与されたコメントの利用—
○高橋 翔 (北大)・嶋田 聡 (NTT)・長谷山美紀 (北大)

20. 人間の動きに基づく楽曲推薦手法の実データ適用に関する検討
○大串裕幸・小川貴弘・長谷山美紀 (北大)

21. 野球映像から取得した投球動作とスコアブックに記載された情報を用いた投手のコンディションの推定に関する検討
○久保純貴・高橋 翔・小川貴弘・長谷山美紀 (北大)

22. 顔画像の SIFT 特徴による耐環境性評価
○牧岡 毅・里中孝美 (熊本県技短大)・山口智美・小田亮介・上瀧 剛・内村圭一 (熊本大)

21 日午後 画像・メディア(10) (13:20~14:40)

23. 距離情報を用いた手話単語モーション認識に関する一検討
○井上誠喜・金子浩之・加藤直人・梅田修一・比留間伸行 (NHK)・長嶋祐二 (工学院大)

24. 犯罪捜査のための靴裏画像の類似度算出に関する検討
○畠山泰貴・長谷山美紀 (北大)

IE-25. 複雑な背景を持つカラー文書画像からの文字抽出
○坂元佑一郎・得地博之・前田純治 (室蘭工大)

IE-26. 電子レセプトからの医療資源を最も投入した傷病の推定の高精度化に関する検討
○池田啓典・畠山泰貴・小川貴弘・長谷山美紀 (北大)

画像・メディア(11) (15:00~16:00)

IE-27. 遠隔コラボレーション支援システム「t-Room」における複数カメラ映像を用いた利用者追跡
○竹内香奈・片桐 滋・大崎美穂 (同志社大)

IE-28. 遠隔協働支援システム「t-Room」における映像オブジェクト抽出法の改良
○中村 譲・片桐 滋・大崎美穂 (同志社大)

29. 人物被写体を対象とした光源推定方式に関する一検討
○松崎康平・青木輝勝 (東北大)

◆映像情報メディア学会；メディア工学研究会／ヒューマンインフォメーション研究会／映像表現&コンピュータグラフィックス研究会連催

☆ITS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月15日(木) 電気学会本部〔締切済〕テーマ：ITS 情報処理，一般

【問合先】

藤井雅弘 (宇都宮大大学院工学研究科情報システム科学専攻)
〒321-8585 宇都宮市陽東 7-1-2
TEL & FAX [028] 689-6280
E-mail : fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月12日(月), 13日(火) 富山大〔締切済〕テーマ：五感メディアの品質, コミュニケーションデザイン, 画像符号化, 食メディア, 一般

【問合先】

境田慎一 (NHK)
TEL [03] 5494-3355
E-mail : ie-kanji2007@mail.ieice.org

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 榮藤 稔・大町真一郎
幹事 玉木 徹・藤吉弘巨 幹事補佐 飯山将晃・関 真規人

★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 山下洋一
幹事 北岡教英・森 大毅 幹事補佐 坂野秀樹・藤本雅清

日時 2月9日(木) 10:30~18:10
10日(金) 9:00~18:00

会場 東北大学大学院情報科学研究科(仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09. 市バス:JR 仙台駅西口バスプール9番乗り場より「青葉通・理・工学部・仙台城跡南経由動物公園循環」「青葉通・工学部経由 宮教大・青葉台」「青葉通・工学部経由 宮教大・成田山」に乗車し, 情報科学研究科前下車. 約20分. タクシー:JR 仙台駅より15分(約1,700円). 仙台空港より50分(約6,000円) TEL [022] 795-5846 和泉勇治)

議題 時系列パターン認識

9日午前 テーマセッション1 (206大講義室) (10:30~12:00)

1. CRFを用いたTVの興味視聴区間の推定手法
○苗村昌秀・高橋正樹・山内結子・藤井真人 (NHK)
2. 非言語情報を用いたHMMによるユーザ発話前内部状態の推定
○千葉祐弥 (東北大)・伊藤 仁 (東北工大)・伊藤彰則 (東北大)
3. 時空間系列パターンのスポッティング認識
岡 隆一 (会津大)

一般セッション1 (207中講義室) (10:30~12:00)

4. Active Appearance Modelsを用いた表情合成におけるパラメータ探索法の改良
○錦内優輝・桂田浩一・入部百合絵・新田恒雄 (豊橋技科大)
5. 顔領域の違いが談話性能に与える影響について
○池田大輔・桂田浩一・入部百合絵・新田恒雄 (豊橋技科大)
6. Face recognition based on virtual frontal view generation using LVTM with local patches clustering
○Xi Li (Nagoya Univ.)・Tomokazu Takahashi (Gifu Shotoku Gakuen Univ.)・Daisuke Deguchi・Ichiro Ide・Hiroshi Murase (Nagoya Univ.)

9日午後 テーマセッション2 (206大講義室) (13:00~14:00)

7. 尤度プロファイル特徴に基づく異常識別
○三上卓也・安藤政志・小山 純・堀田政二 (東京農工大)・渋谷久恵・前田俊二 (日立)
8. センサ内蔵人形インタフェースを用いたモーションキャプチャデータの検索
○沼口直紀・中澤篤志 (阪大)・白鳥貴亮 (ディズニースearch)・ジェシカ ホギンス (CMU)

一般セッション2 (207中講義室) (13:00~14:00)

9. スマートフォンを用いたコンテンツ検索支援のための動作認識
○嶋谷健太郎・間下以大・宮本大樹・岩田麻佑・原 隆浩・清川 清・竹村治雄・西尾章治郎 (阪大)
10. 大局的な行動パターンに基づいた異常状態の検出
○葛本衣里・宜保達哉・青木茂樹・宮本貴朗・岩田 基・汐崎 陽 (阪府大)

一般セッション3 (206大講義室) (14:15~16:15)

11. 4次元歩容データによる歩行の向きの変化に頑強な個人識別
○馬場亮輔・岩下友美 (九大)・小川原光一 (和歌山大)・

12. 見えの変化に頑強な歩容による個人識別—一曲線軌道への拡張
○岩下友美・馬場亮輔 (九大)・小川原光一 (和歌山大)・倉爪 亮 (九大)

13. 複数の赤外線ライトによる影を用いた歩容による個人識別
○岩下友美・内野康司・倉爪 亮 (九大)・Adrian Stoica (JPL)

14. Subject Adaptation and Adaptive Training for Gait-based Person Identification
○Muhammad Rasyid Aqmar・Koichi Shinoda・Sadaaki Furui (Tokyo Inst. of Tech.)

一般セッション4 (207中講義室) (14:15~16:15)

15. Informative Patches Sampling for Image Classification by Utilizing Bottom-up and Top-down Information
○Bai Shuang・Tetsuya Matsumoto・Yoshinori Takeuchi・Hiroaki Kudo・Noboru Ohnishi (Nagoya Univ.)
16. ライブセルイメージのための雑音除去
○青木健太・藤崎顕彰・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)・荒関雅彦・齋藤有紀・鈴木利治 (北大)
17. 隠れマルコフモデルを用いた眼電位認識の研究
○房 福明・篠崎隆宏・堀内靖雄・黒岩真吾 (千葉大)・古井貞熙 (東工大)・武者利光 (脳機能研)
18. 株価回帰とWEBニュース記事分析を組み合わせた株価動向推定
○高橋宏圭・関 和広・上原邦昭 (神戸大)
19. [ポスター講演] ポスターショートオーラル (16:30~16:50)
正六角形ゾーニングによる文字の特徴抽出と認識
○山本暁仁・大山 航・若林哲史・木村文隆 (三重大)
20. [ポスター講演] 文字の回転に対して頑健な文字認識手法
○山村昌史・大山 航・若林哲史・木村文隆 (三重大)
21. [ポスター講演] ランレングス特徴による文書画像のレイアウト解析
○望月雄太・大山 航・若林哲史・木村文隆・三宅康二 (三重大)
22. [ポスター講演] 大腸NBI内視鏡画像のポリープ領域分割
○平川 翼・玉木 徹・ライチエフ ビセル・金田和文 (広島大)
23. [ポスター講演] Realistic CG Stereo Image Dataset With Ground Truth Disparity Maps
○Sarah Martull・Martin Peris・Kazuhiro Fukui (Univ. of Tsukuba)
24. [ポスター講演] ワイルドカードを用いたRandom Fernsによるノイズに頑健な特徴表現
○竹ノ内信寛・藤吉弘巨 (中部大)
25. [ポスター講演] 分岐サンプル間の分布を考慮したRandom Forestsの高精度化
○三品陽平・山内悠嗣・藤吉弘巨 (中部大)
26. [ポスター講演] IHS変換を用いた衛星画像の融合処理
○塚本直子・菅谷至寛・大町真一郎 (東北大)
27. [ポスター講演] 多様体学習を用いた胸部CT画像からのGGO結節自動検出に関する基礎検討
○根本充貴・増谷佳孝・花岡昇平・野村行弘・吉川健啓・林 直人・大友 邦 (東大)
28. [ポスター講演] 物体と動き特徴を用いた行動認識
○勝手美紗・内海ゆづ子・黄瀬浩一 (阪府大)
29. [ポスター講演] ワードネットから得られた高次意味属性に基づく一般物体認識
○戸川恵里・Martin Klinkigt・

- 黄瀬浩一 (阪府大)
30. [ポスター講演] 撮影角度の異なる耳介による認証システムのロバスト性改善
○渡部大志・崔 英泰・酒井勝朗 (埼玉工大)・中村 納 (工学院大)
31. [ポスター講演] SAFIA の位相特性に注目した機械雑音下の話者方向判定の改良
○川野恵右・川端 豪 (関西学院大)
32. [ポスター講演] 車載音声の解析と評価—アレイマイクロフォンとスペクトルサブトラクションの融合—
○藤澤大希・横田卓也・小野誠弥・平間大智・畑岡信夫 (東北工大)
33. [ポスター講演] スパース表現を用いた実環境における喀痰検出
○山下達也・田村哲嗣・林 賢二・西本 裕・速水 悟 (岐阜大)
34. [ポスター講演] 事例ベースに基づく対戦ゲームの局面発声—オセロゲームへの実装—
○富永遼太・川端 豪 (関西学院大)
35. [ポスター講演] 日本語発話能力測定ウェブシステムのための留学生発話分析
○栗原理沙 (和歌山大)・石塚賢吉 (筑波大)・西村竜一 (和歌山大)・篠崎隆宏 (千葉大)・山田武志・今井新悟 (筑波大)
- ポスターセッション (16:50~18:10)
- 10 日午前 テーマセッション 3 (206 大講義室) (9:00~11:00)
1. Lip Tracking Based on a Curved Gaussian Density
○Xin Lu・Kiyoshi Nishiyama (Iwate Univ.)
2. 発音習得のための超音波舌画像に対する音素片マッピング
○矢口勇一・堀口尚哉・イアン ウィルソン (会津大)
3. 手話素単位を用いた大語彙手話認識
○佐藤 新・篠田浩一 (東工大)
4. Kinect とパーティクルフィルタを用いた HMM 手話認識手法の検討
○西村洋介・今村大輔・堀内靖雄・川本一彦・篠崎隆宏・黒岩真吾 (千葉大)
- 一般セッション 5 (207 中講義室) (9:30~11:00)
5. パーティクルフィルタを組み込んだ分離度 Snake による微生物の輪郭追跡
○高木雅武・福井和広 (筑波大)
6. 差分情報に基づくパーティクルフィルタを用いた複雑環境下における物体追跡
○椎名雄飛・池永 剛 (早大)
7. 事例ベース背景モデルの性能評価
○野中陽介・島田敬士・長原 一・谷口倫一郎 (九大)
- 招待講演 1 (206 大講義室) (11:10~12:10)
8. [招待講演] 時系列データからの潜在的構造変化検出
山西健司 (東大)
- 10 日午後 招待講演 2 (206 大講義室) (13:40~14:40)
9. [招待講演] 数理モデルによる音楽情報処理
○嵯峨山茂樹 (東大)・小野順貴 (NII)・亀岡弘和 (東大/NTT)
- テーマセッション 4 (206 大講義室) (14:50~16:20)
10. 大局的最適化による細胞内粒子の追跡
○藤崎顕彰・青木健太・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)・荒関雅彦・齋藤有紀・鈴木利治 (北大)
11. 事例に基づく筆順推定
○岩切裕太郎・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
12. GMM-Supervector と SVM を用いた映像からのイベント検出
○上嶋勇祐・井上中順・篠田浩一 (東工大)・佐藤俊介 (キヤノ)

音声処理 (207 中講義室) (14:50~16:20)

13. ユーザ動作を許容する非可聴つぶやき認識のためのブラインド雑音抑圧法の改良
○石井隼太・戸田智基・猿渡 洋・サクリアニ サクティ・中村 哲 (奈良先端大)
14. ブラインド音源分離の後処理としてのマルチバンド音声認識
○安藤厚志・大橋宏正 (名大)・原 直 (奈良先端大)・北岡教英・武田一哉 (名大)
15. Two-pass Approach for Recognizing Code-Switching Speech
○Yonatan Andy Fajar Nugraha・Koichi Shinoda・Sadaoki Furui (Tokyo Inst. of Tech.)・Koji Iwano (Tokyo City Univ.)
- 一般セッション 6 (206 大講義室) (16:30~18:00)
16. 局所特徴を用いた細胞画像認識
○島田祐輝・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
17. 2 時相 3 次元胸部 CT 像からのリンパ節自動抽出手法に関する検討
○岸本充博・小田昌宏 (名大)・北坂孝幸 (愛知工大)・岩野信吾・森 健策 (名大)
18. カメラを用いたレイアウトフリー文書画像検索
○上田敬介・黄瀬浩一 (阪府大)
- 音声処理 (207 中講義室) (16:30~17:30)
19. 息継ぎ音を利用した電話音声の発話分割
○福田 隆・市川 治・西村雅史 (日本 IBM)
20. 音声ドキュメント検索におけるクエリ拡張と音節認識の併用の効果
○大橋宏正 (名大)・柘植 覚 (大同大)・北岡教英・武田一哉 (名大)・北 研二 (徳島大)
- ☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
3月29日(木), 30日(金) 神戸大 [締切済] テーマ: 人の視聴覚情報処理と PRMU の接点

【問合先】

PRMU 研究会幹事

E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月8日(木), 9日(金) 理研脳科学総合研究センター [締切済] テーマ: 聴覚・音声・言語とその障害/一般 (日本音響学会; 聴覚研究会共催)

——信越支部における開催——

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 那須川哲哉 副委員長 山本和英・増市 博
幹事 竹内孔一・柳原 正 幹事補佐 西崎博光・金山 博

日時 2月2日(木) 12:30~16:45

3日(金) 9:15~16:40

会場 朱鷺メッセ (新潟コンベンションセンター) (新潟市中央区万代島 6-1. JR 新潟駅からバス 15 分. <http://www.tokimesse.com/>)

議題 第3回集合知シンポジウム

2日 セッション 1

1. GMAIS による日本語ビジネス教育の教授法
沢 恒雄 (遊工研)
2. 情景写真へのテキスト書き込みを伴うインタビューによる行動知抽出法
○森 泰介・大澤幸生 (東大)
3. 日本語・中国語版 Wikipedia を用いた日中間の文化差検出手法の検討
○吉野 孝 (和歌山大)・宮部真衣 (東大)

招待講演 1

4. [招待講演] マイクロブログマイニングの現在
奥村 学 (東工大)

特別セッション

5. チュートリアル&ディスカッション: 集合知言語処理の研究動向

3日午前 セッション2

1. 物語生成システムのための名詞/動詞概念辞書の構築と応用
○大石顕祐・小方 孝 (岩手県立大)
2. ソーシャルメディア「Twitter」を利用した音声データ収集の試み
○嶋田浩希・西崎博光・関口芳廣 (山梨大)
3. フォロー類似度による Twitter 高次数ユーザの関係分析
○小出明弘・斉藤和巳 (静岡県立大)・鳥海不二夫 (名大)・風間一洋 (NTT)

招待講演2

4. [招待講演] グリーのバックエンドデータ (仮題)
松倉友樹 (グー)

3日午後 セッション3 (13:15~)

5. 評価表現と文脈一貫性を利用した教師データ自動獲得によるクレーム文検知
○梅澤佑介・乾 孝司・山本幹雄 (筑波大)
6. Q & A サイトで繰り返し一緒に回答を投稿するユーザ間での投稿順序の偏りの調査
○梅本顕嗣・石川尚季・西村 涼・渡辺靖彦・岡田至弘 (龍谷大)
7. Web データを用いた多言語用例対訳候補の抽出手法の検討
○福島 拓・吉野 孝 (和歌山大)

セッション4

8. 概念体系における移動と制約に基づく単一事象及びシナリオ生成
○張 一可・小野淳平・小方 孝 (岩手県立大)
9. プロップ理論に基づくストーリーグラマーによるトップダウン/ボトムアップストーリー生成
○今淵祥平・小方 孝 (岩手県立大)
10. 状態-事象変換に基づくストーリー生成機構
○小野寺 康・小方 孝 (岩手県立大)

[問合せ先]

集合知シンポジウム担当 (山本・金山・竹内)
E-mail: NLC2012@jnlp.org

——東海支部における開催——

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一
幹事 若山俊夫・谷島正信 幹事補佐 富木淳史・長 康平

★衛星通信研究会 (SAT)

専門委員長 加藤 寧 副委員長 門脇直人・山本員生
幹事 樫木勘四郎・吉村直子 幹事補佐 西山大樹

◎本研究会は SANE 研究会と SAT 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 2月16日(木) 13:00~18:20
17日(金) 9:00~12:35

会場 三重大学 (津市栗真町屋町 1577. <http://www.mie-u.ac.jp/traffic/index.html>)

議題 衛星応用技術及び一般

16日

- SAT-1. 継続時間を用いた降雨時の Ka・Ku 帯衛星稼働率と周波数ダイバーシティの解析
○寺本卓史・中條 渉 (名城大)・真鍋武嗣 (阪府大)・山本伸一 (NICT)
- SAT-2. 衛星/地上統合移動通信システムにおけるダイナミックチャネル割当方式の検討
○内藤文博・梅比良正弘 (茨城大)
- 共通-3. 準天頂衛星システムにおける高仰角広帯域伝搬路特性の面的評価
○中澤勇夫・木村和宏・藤野義之・浜 真一 (NICT)
- SANE-4. 高高度衛星探知用送受信測距系の光地球局への導入
○國森裕生 (NICT)・石津美津雄 (FLI)・荒木博志 (NAOJ)
- SANE-5. 搜索救助衛星システムの高度化に関する実衛星による実証試験
三浦正春・市村隆之 (大洋無線)・五十嵐喜良・○有竹信夫 (ARIB)
- SANE-6. 簡易衛星シミュレータの開発 永松弘行 (JAXA)
- SAT-7. レイヤ3ダイバシティシステムにおけるパケットフィルタリング処理の高速化と IPv6 のサポート化
○水谷直生・西山大樹 (東北大)・中平勝也 (NTT)・加藤 寧 (東北大)
- SAT-8. 小型光通信装置を用いたレーザー光の伝搬実験
○高山佳久・佐々木 崇・竹中秀樹・小山善貞・豊嶋守生 (NICT)・横田孝夫 (NEC)
- SAT-9. 光衛星通信のためのマルチレート LDGM 符号化伝送におけるレート推定手法の改善
○京 拓磨・岡本英二 (名工大)・荘司洋三・高山佳久・豊嶋守生 (NICT)
- 共通-10. [特別講演] パーソナル衛星通信システムの開発を振り返って
小林英雄 (三重大)
- #### 17日
- SAT-1. 移動通信環境下における SC-OFDM 通信システム用伝送路推定方式に関する検討
○山本智一・内藤克浩・森 香津夫・小林英雄 (三重大)
- SAT-2. Proposal of ML Based Frequency-Time Domain Channel Estimation Method for OFDM Systems in Time-Varying Rayleigh Fading Channel
○A-Doong Singhapan・Katsuhiko Naito・Kazuo Mori (Mie Univ.)・Pisit Boonsrimuang (KMITL)・Hideo Kobayashi (Mie Univ.)
- SAT-3. 移動通信環境下における OFDM 信号の PAPR 低減方式に関する検討
○小池友人・内藤克浩・森 香津夫・小林英雄 (三重大)
- SAT-4. 既存衛星地球局の傍受耐性向上に関する検討
○鈴木義規・中平勝也・杉山隆利 (NTT)
- SANE-5. 単一アンテナによる多重散乱波を利用した任意運動目標の UWB レーダイメージング
○伊神皓生・阪本卓也・佐藤 亨 (京大)
- SANE-6. GPS とカルマンフィルタ及び NN によるナビゲーションシステムにおける学習データと推測精度の解析
○鄭 春梅・中山謙二・平野晃宏 (金沢大)
- SANE-7. UAV を用いた航空無線通信システムの実験の一検討
○住谷泰人・金田直樹・米本成人・ニッ森俊一・河村暁子・磯崎栄寿・山 康博 (電子航法研)
- SANE-8. マイクロ波電力伝送地上実験システムの開発
○本間幸洋・佐々木拓郎 (三菱電機)
- ◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催
◎16日研究会終了後に懇親会を予定しております。

☆SANE 研究会

【問合せ先】

若山俊夫 (三菱電機)
TEL [0467] 41-2523, FAX [0467] 41-2419
E-mail : Wakayama.Toshio@ab.MitsubishiElectric.co.jp
谷島正信 (JAXA)
TEL [050] 3362-7573
E-mail : yajima.masanobu@jaxa.jp

☆SAT 研究会

【問合せ先】

SAT 研究会幹事
E-mail : sat_ac-sec@mail.ieice.org
樫木勘四郎 (KDDI 研)
TEL [049] 278-7421, FAX [049] 278-7812
吉村直子 (NICT)
TEL [042] 327-5336, FAX [042] 327-6123

——関西支部における開催——

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏
幹事 馬渡宏泰・田村信幸
幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 吉田 清 副委員長 長谷川 誠・関川純哉
幹事 久我宣裕・服部康弘 幹事補佐 阿部宜輝

日時 2月17日(金) 10:30~16:00

会場 オムロンラーニングセンター (京都市下京区塩小路通堀川
東入。 <http://maps.google.co.jp/maps?q=34.986922%2C135.753921&hl=ja&prmd=ivns&prmdo=1&um=1&ie=UTF-8&sa=N&tab=pl> TEL [075] 334-6081 (会場) 高見幸二)

議題 機構デバイスの信頼性, 信頼性一般

1. ポリカーボネートケースを使用したリレーの封止信頼性の改善
○達野陽介・大谷 修・福原智博 (オムロン)
2. アクリル系樹脂材料の近傍におけるリレー接点の接触抵抗特性に関する実験的検討
○長谷川 誠・小林菜々絵 (千歳科技大)・河野良行・安藤 寛 (カネカ)
3. 接点表面損傷形状の光学的計測システムに関する実験的検討
○高橋佳佑・長谷川 誠 (千歳科技大)

午後 (12:50~)

4. Si 片持ち梁の張り付き現象に与えるプロセス最終処理の影響
○加藤一郎・加藤真耶 (JAXA)
5. 中波自動整合回路の制御方式による信頼性評価
若井一顕 (第一工大)
6. レールと車輪の電気的接触抵抗に関する研究
○福田光芳・伴 巧・前橋栄一・寺田夏樹・藤田浩由・遠山 喬・大和田厚祐 (鉄道総研)
7. Ni-Sn 間に成長するへら状成長物一考察 (2)
伊藤貞則 (イトケン)
8. 摺動の接触荷重一接触抵抗特性への影響
○笹山昇吾 (三重大)・齋藤 寧 (オートネットワーク技研)・玉井輝雄 (エルコンテック)・飯田和生 (三重大)・服部康弘 (オートネットワーク技研)

9. 錫めっきでの微摺動摩耗に対する間欠時間の影響

○安田純平・飯田和生・齋藤 寧・澤田 滋 (三重大)・服部康弘 (オートネットワーク技研)

10. 接点形状と電気的耐久性の相関について ○竹内史典・森 哲也・高見幸二 (オムロン)

◆継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会, IEEE CPMT JAPAN 協賛

☆R 研究会

【問合せ先】

木村光宏 (法政大)
TEL [042] 387-6116, FAX [042] 387-6126
E-mail : kim@hosei.ac.jp

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月2日(金) 玉川大 [締切済] テーマ: 卒論・修論特集 (ショートノート)

【問合せ先】

長谷川 誠 (千歳科技大)
TEL & FAX [0123] 27-6059
E-mail : hasegawa@photon.chitose.ac.jp

関川純哉 (静岡大)
TEL & FAX [053] 478-1618
E-mail : tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

服部康弘 (住友電装)
TEL [059] 382-8970, FAX [059] 382-8591
E-mail : yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は, <http://www.ieice.org/es/emd/jpn/> を御参照下さい。

——中国支部における開催——

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良
幹事 山口 良・石井 望 幹事補佐 有馬卓司

日時 2月9日(木) 9:30~16:50
10日(金) 9:05~16:50

会場 NHK 広島放送局ハイビジョンシアター (4F) (広島市中央区大手町 2-11-10, JR 広島駅より路面電車 (1 番宇品行き) 袋町下車。 <http://www.nhk.or.jp/hiroshima/hiroshima/index.html>)

議題 放送技術, 一般

9 日午前

- A・P-1. FM 放送波による地上デジタル TV 放送波のオーバーリーチ特性の推定 ○小森弘貴・原田洋輔・新 浩一・西 正博・吉田彰顕 (広島市大)
- A・P-2. 受信品質測定による地上デジタル TV 放送波のオーバーリーチ伝搬の検討 ○坪島知也・高橋幸司・新 浩一・西 正博・吉田彰顕 (広島市大)
- A・P-3. 電波伝搬特性に基づく無線端末認証方式の性能解析
○尾谷尚宣・岩井誠人・笹岡秀一 (同志社大)
4. 地上デジタル放送において直接波妨害成分が遅延プロファイル測定に与える影響と対策 ○春名達明・生岩量久 (広島市大)・来山和彦 (NHK アイテック)・藤坂尚登・神尾武司 (広島市大)

5. 伝搬プロファイルの解析における位相雑音の抑圧に関する検討
太田弘毅 (NICT)

9 日午後

A・P-6. 時分割多重を用いる単一受信機によるアダプティブアレーのスイッチ切換方法に関する検討

○古賀健一 (東海理化/名工大)・菊間信良・平山 裕・
榊原久二男 (名工大)・古池竜也・岩下明暁・
水野善之 (東海理化)

A・P-7. Base Station Cooperation in Single Carrier MIMO Cellular System with Tapped Delay Line Structure

○Tetsuki Taniguchi・Yoshio Karasawa・
Nobuo Nakajima (Univ. of Electro-Comm.)

A・P-8. 屋内ダイバーシチアンテナによる地上デジタル放送波の受信実験 武田 優・○陳 強・澤谷邦男 (東北大)・

茂木智広 (八木アンテナ)

9. 放送用電子透かし装置の開発 ○麻生慎太郎・

山根智文・成田長人・高砂幸代 (NHK)・
菅井豊和 (三菱電機)・横山幸雄 (三菱電機イノベーションシステム)

10. 多次元インターリーブの一検討 ○朝倉慎悟・

村山研一・田口 誠・蔀 拓也・渋谷一彦 (NHK)

11. ダウンロードダブル CAS 方式の開発 ○川喜田裕之・

西本友成・遠藤洋介 (NHK)・井上友幸 (NHK-ES)

特別講演—IEEE AP-S Japan Chapter/IEEE BT-S Japan Chapter 共同主催

A・P-12. [特別講演] 放送事業における中国地方の最近の話題について (口頭発表) 山内雄敦 (NHK)

10 日午前

A・P-1. 複数ダイポールのインピーダンス行列要素間の関係

○飯草恭一・原田博司 (NICT)

A・P-2. Band Diagram Analysis of 2-D EBG structure Composed of Drude Type Frequency-Dependent Material

○Amin Gul Hanif・Toru Uno・
Takuji Arima (Tokyo Univ. of Agric. & Tech.)

3. Design of an Implanted RFID Antenna in Human arm model

○Hoyu Lin・Masaharu Takahashi・Kazuyuki Saito・
Koichi Ito (Chiba Univ.)

A・P-4. PIM 源内蔵アンテナを用いた小形電波暗箱内の性能評価に関する検討 ○高田耕平・久我宣裕 (横浜国大)

A・P-5. [チュートリアル講演] 小形アンテナ測定におけるケーブルの影響の低減法 ○深沢 徹・柳 崇・

宮下裕章・小西善彦 (三菱電機)

10 日午後

6. 10 GHz 帯集中定数型 LN 光変調器実現に向けての検討

○松尾悟志・生若量久 (広島市大)・
鳥羽良和 (精工技研)・神尾武司・
藤坂尚登 (広島市大)

7. 衛星放送受信アンテナ用 12/21 GHz 帯共用給電部の検討

○長坂正史・中澤 進・田中祥次 (NHK)

8. オフセット型 SNG 用メッシュ反射鏡アンテナの衛星伝送試験

○中澤 進・長坂正史・田中祥次・石堂裕司・
近藤宏行 (NHK)

A・P-9. 超マルチビーム通信衛星向けアレー給電反射鏡アンテナの素子サイズの最適化の検討 藤野義之・

浜本直和・三浦 周・織笠光明・若菜弘充 (NICT)・

○山本伸一・柳 崇・稲沢良夫・舟田雅彦・
名取直幸 (三菱電機)

A・P-10. Loss reduction by air-region insertion to LTCC rectangular-waveguide slot array antenna in the millimeter-wave band ○Yuanfeng She・Jiro Hirokawa・

Makoto Ando (Tokyo Inst. of Tech.)・
Daisuke Hanatani・Masahiro Fujimoto (Hirai Seimitsu)

A・P-11. Estimation and measurement of Cylindrical wave propagation in Honeycomb for the use in mm-wave RLSA

○Rushanthi Sachithra Jayawardene・Tung Xuan Nguyen・
Yasutomu Takano・Kimio Sakurai・Takuichi Hirano・

Jiro Hirokawa・Makoto Ando (Tokyo Inst. of Tech.)・
Osamu Amano・Takaomi Matsuzaki・

Shuichi Koreeda (NT Space)

A・P-12. 3-D SiP 構造を用いた 60 GHz 帯 2 次元ビームフォーミングアレイアンテナ ○吉田賢史・鈴木祐也・

谷藤正一・亀田 卓・末松憲治・高木 直・
坪内和夫 (東北大)

A・P-13. 冷却管とパラボラ反射鏡によるミリ波パッシブイメージングの物体検知特性の改善 ○栗山弘平・佐藤弘康・

澤谷邦男 (東北大)

◆映像情報メディア学会：放送技術研究会連催。IEEE AP-S Japan Chapter, IEEE BT-S Japan Chapter 共催

◎9 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 15 日 (木), 16 日 (金) 熱海市中央公民館 [締切済]
テーマ：一般

4 月 19 日 (木), 20 日 (金) 東北大片平さくらホール [2 月
10 日 (金)] テーマ：一般

5 月 24 日 (木), 25 日 (金) アクロス福岡 [3 月 10 日 (土)]
テーマ：一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

石井 望 (新潟大)

E-mail : ap_ac-secretary@mail.ieice.org

——九州支部における開催——

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 大西 仁 副委員長 金子寛彦・安藤英由樹

幹事 梅村浩之・渋谷 進

幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 2 月 9 日 (木) 12:30~17:20

10 日 (金) 10:00~14:15

会場 リゾートホテル久米アイランド (鳥居郡久米島町真我里
411. TEL [06] 6879-7830 安藤英由樹)

議題 手, 一般

9 日

1. モデル予測制御を用いた動作予測に基づくパワーアシストシステムの開発 森 貴彦 (岐阜高専)

2. 何が触れているのか?—身体背面部と手のひらにおける触判断の比較検討— ○大森馨子・五十嵐由夏・

和氣洋美 (神奈川大)・巖島行雄 (日大)

3. パワーアシストのための電子機能ブロックを用いた生体信号の計測 ○林 宏徳・森 貴彦 (岐阜高専)

4. 視覚刺激操作による自己運動主体感の喪失
○飯塚博幸・安藤英由樹・前田太郎 (阪大)
5. [招待講演] 「針突・ハジチ」の文化と表象—手の記憶—
栗国恭子 (沖縄国際大)
6. [招待講演] 手外科医における手の巧みさ
原 友紀 (筑波大)
7. [招待講演] 手の計測 (仮)
星野 聖 (筑波大)
- 10 日
1. [招待講演] 視野特性に適合させた 3 次元画像表示装置の開発
矢野澄男 (NHK)
2. 深度センサを用いた動作推定による情報機器の制御
小渡 悟 (沖縄国際大)

午後 (12:25~)

3. [招待講演] 手のモーションキャプチャによる取得方法と応用—最新の光学反射式モーションキャプチャとシーケンシャルスキャナによる手のキャプチャー—
小谷 創 (クレセント)
4. [招待講演] 手の感覚の錯覚現象
安藤英由樹 (阪大)

◆日本ロボット学会; 手の巧みさ研究専門委員会共催

☆HIP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月29日(木), 30日(金) 神戸大 [締切済] テーマ: 人の視聴覚情報処理と PRMU の接点

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三
幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 酒井正俊

日時 2月17日(金) 11:00~17:35

会場 産業技術総合研究所九州センター (鳥栖市宿町 807-1. 鳥栖駅から徒歩 20 分. <http://www.aist.go.jp> TEL [0942] 81-3623)

議題 バイオテクノロジー, 有機エレクトロニクス, 界面, 一般

1. 導電性高分子と生体エレクトロニクス材料
小野田光宣 (兵庫県立大)・阿部弥生 (大坪電気)・多田和也 (兵庫県立大)・宇戸禎仁 (阪工大)
2. セルロース系液晶を用いた電圧印加による可変色素子
金原由惟・石原将市・宇戸禎仁 (阪工大)
3. 導電性高分子ディスプレイの階層構造とデバイス応用
奥崎秀典 (山梨大)

午後

OME-4. 細菌類検査における前処理方法の開発 ○金 英輝・松田直樹 (産総研)

OME-5. スラブ光導波路分光法を用いた固液界面におけるタンパク質の機能のその場観察 岡部浩隆・○松田直樹 (産総研)

OME-6. ソリューションプラズマ法による新規な貴金属ナノ粒子合成方法の開発 ○松田直樹・中島達郎 (産総研)

OME-7. 高周波プラズマ中の酸素種ラジカルを用いた医療用滅菌法の開発 ○林 信哉・後藤昌昭 (佐賀大)・柳生義人 (佐世保高専)・米須 章 (琉球大)

OME-8. 誘電泳動を用いた表面抗原発現細胞の迅速な識別
○安川智之・畠中啓伸・水谷文雄 (兵庫県立大)

OME-9. 高分子/水界面における凝集構造と生体適合性
○松野寿生・平田豊章 (九大)・田中 賢 (山形大)・田中敬二 (九大)

OME-10. ポルフィリンダイマーのレドックス型分子ピンセット特性
○有村隆志・西岡琢哉・須賀康裕・土屋陽一 (産総研)

- OME-11. 接合型ポリマー光導波路の作製 ○杉原興浩・松井崇行・戒能俊邦 (東北大)・小松京嗣 (仙台高専)
- OME-12. 高い認識能を有するバイオセンシング界面の設計
長崎幸夫 (筑波大)

◆電気学会; 誘電・絶縁材料研究会連催

【問合せ先】

松田直樹 (産総研)
E-mail: naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)
E-mail: jnaka@aecl.ntt.co.jp

酒井正俊 (千葉大)
E-mail: sakai@faculty.chiba-u.jp

★VLSI 設計技術研究会 (VLD)

専門委員長 宇佐美公良 副委員長 山田晃久

幹事 小林和淑・竹中 崇

日時 3月6日(火) 10:10~16:45

7日(水) 9:15~16:30

会場 ビーコンプラザ (別府市山の手町 12-1. 別府 (大分) 駅から徒歩 15 分またはバスで 5 分. <http://www.b-conplaza.jp/access/index.htm> TEL [0977] 26-7111 (会場) 高島康裕 (北九州市大))

議題 システムオンシリコンを支える設計技術

6日午前 電力/電源解析

1. IDDQ 電流を用いた大域プロセスばらつき推定手法
○新谷道広・佐藤高史 (京大)
2. ビアプログラマブル ASIC アーキテクチャ VPEX の消費電力評価と面積・遅延性能評価 ○大谷 拓・堀 遼平・北森達也・上岡泰輔 (立命館大)・吉川雅弥 (名城大)・藤野 毅 (立命館大)
3. 省エネ組み込みヘテロジニアス・マルチチップ・プロセスシステム COOL Chip の LSI 試作 ○内田裕之・萩本有哉・森本智之・引地信之・松本祐教 (トプシステムズ)・居村史人・渡辺直也・菊地克弥・鈴木基史・仲川 博・青柳昌宏 (産総研)
4. GPGPU による電源配線回路シミュレーション高速化手法の性能評価 ○塩野隼人・林 磊・横田 誠・福井正博 (立命館大)

6日午後 暗号と高位設計 (13:10~)

5. 受信スロット情報に基づく暗号方式制御を備えた 10G/1G デュアルレート EPON OLT LSI ○安田禎之・羽田野孝裕・首藤啓樹・浦野正美・中西 衛・柴田随道 (NTT)
6. Dual-Rail RSL メモリ方式を用いた耐タンパ DES 暗号回路の設計 ○柴谷 恵・岩井克彦・橋本祐樹・汐崎 充・浅川俊介・藤野 毅 (立命館大)
7. 不完全ネストループに対するループパイプライン
○竹中 崇・若林一敏 (NEC)・中越優佳 (NEC 情報システムズ)
8. 製造後スキュー調整性を最大化する RTL 資源割当手法
○春田洋佑・金子峰雄 (北陸先端大)

動作レベル設計と配線手法

9. 動作レベル・レジスタ転送レベル混在設計記述向け高位合成手法
○吉田浩章・藤田昌宏 (東大)
10. 高位合成における潜在的並列性を利用した投機実行に基づく

CDFG 変換

○大野真司 (名大)・高木一義・
高木直史 (京大)

11. 論理合成ツールを用いた論理最適化における RTL フォール
スパスの活用

○三上雄大・岩垣 剛・市原英行・
井上智生 (広島市大)

12. 単線最長配線手法を用いた一層複線指定長配線手法

○古山祥平・小平行秀 (会津大)

7 日午前 信頼性

1. NBTI を考慮した電源配線最適化の一手法

○長田賢明・福井正博 (立命館大)・築山修治 (中大)

2. 冗長化 FF 置き換え方式による高信頼性 VLSI 設計の自動化

○矢野 憲・吉木崇人・林田隆則・佐藤寿倫 (福岡大)

3. 順序回路におけるソフトエラーの論理マスク効果の効率的な
解析手法について

○高田大河・松永裕介 (九大)

回路/システム設計

4. 単一磁束量子回路の設計検証のための時刻付き論理式の等価
性判定手法

○川口隆広 (名大)・高木一義・
高木直史 (京大)

5. パターン非依存正規表現マッチングエンジンに対する先読み
演算の実現

○若葉陽一・稲木雅人・永山 忍・
若林真一 (広島市大)

6. 多数カメラ映像に対するリアルタイム画像識別処理ハード
ウェアの実装

○細谷英一・青木 孝・大塚卓哉・
関原悠介・小野澤 晃 (NTT)

7 日午後 再構成回路 (13:20~)

7. 動的リコンフィギュラブルプロセッサにおける記憶回路の低
消費電力化と DVFS 手法の検討

○早川勇輝・
宇佐美公良 (芝浦工大)

8. 近似正規表現マッチングの FPGA と GPGPU による実装と比
較

○宇丹裕一郎・稲木雅人・永山 忍・
若林真一 (広島市大)

9. Power Efficient Design of Arithmetic Circuits Based on
Embedded Memory Blocks in FPGA

○Xinmu Yu (Waseda Univ.)・
Kiyoharu Hamaguchi (Osaka Univ.)・
Shinji Kimura (Waseda Univ.)

10. FPGA 上に実現した可変レイテンシ回路の性能評価

○右近祐太・安藤健太・高橋篤司 (阪大)

低電力設計

11. 遺伝的プログラミングを用いたグラウンドバウンス低減にむ
けたパワースイッチ駆動回路生成の検討

○宮内 誠・工藤 優・太田雄也・宇佐美公良 (芝浦工大)

12. 色差に着目した低電力色補間回路の設計に関する考察

○面林康太・岩垣 剛・市原英行・井上智生 (広島市大)

13. パワースイッチの基板電圧選択制御によるサブスレッシュホ
ルド回路のリークエネルギー低減化

○三橋 遼・
工藤 優・太田雄也・宇佐美公良 (芝浦工大)

◎6 日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので、御参加下
さい。

◎3 月 8 日, 9 日に同じ会場で, IEICE が協賛する国際会議 SA-
SIMI (<http://www.sasimi.jp/>) が開催されます。

☆VLD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

5 月 28 日 (月)~30 日 (水) 北九州国際会議場 [未定] テー
マ: LSI とシステムのワークショップ 2012

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小林和淑 (京都工繊大)

TEL (075) 724-7452

E-mail: kazutoshi.kobayashi@kit.ac.jp

◎VLD 研究会ホームページも御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~vld/>

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第 28 回情報ネットワーク・ネットワークシステム研 究ワークショップ

基調テーマ: 「新興国の近未来に役立つ ICT 技術—日本の経験を
世界に活かす—」

情報ネットワーク研究専門委員会委員長

鈴木 光 (NTT コミュニケーションズ)

ネットワークシステム研究専門委員会委員長

木村丈治 (NTT 西日本)

情報ネットワーク研究専門委員会及びネットワークシステム研
究専門委員会共催により、第 28 回情報ネットワーク・ネッ
トワークシステム研究ワークショップを下記要領にて開催致しま
す。奮って御参加下さいませようお願い申し上げます。また、お
近くの方々もお誘い頂けますと幸いです。

趣旨

ICT 先進国の日本では、様々な ICT サービスが利用されてい
ます。東日本大震災でも、電話に代わりツイッターなどのイン
ターネットを活用した通信の活躍が報じられました。しかし、被
災地域ではバックアップを用意した ICT システムでさえ多重故
障により通信が途絶しました。また、直接の被災を免れた ICT
装置も、長時間停電などの影響で動作不能に陥りました。このよ
うな背景から、災害対策や復興に向けた ICT 研究開発は、今後
更にその重要性を高めていくことでしょう。

一方で、世界に目を向けると、新興国が著しく発展しつつあり
ます。新興国では辺境地域における経済的な通信が重視されるな
ど、ICT システムの価値基準も変わりつつあります。輸出産業
に頼る日本では、このような変化を先取りした ICT 技術の研究
開発を進めていくことも重要といえます。

これらの研究開発では、共通的に省エネ・信頼性・経済性など
が重視されます。このような領域は、本来、日本が得意とする領
域ともいえます。しかし、要素技術の研究開発では成功しても、
ICT システム全体の研究開発では、多くの課題を抱えている方
が多いのではないのでしょうか。そこで、本ワークショップでは、
日本の復興や新興国の発展に日本の技術を活かしつつ、ICT
の世界にパラダイムシフトを起こしていくような研究開発のあり
方について、様々な視点から検討を深めていきます。

日時 平成 24 年 3 月 7 日 (水) 14:00~8 日 (木) 17:20

(*) 本ワークショップでは、平成 23 年度の「情報ネットワーク
研究賞」及び「ネットワークシステム研究賞」の表彰を併せて行
います。また、8 日午前、9 日 8:30~15:50 に同じ会場にて、
ネットワークシステム研究専門委員会並びに情報ネットワーク研
究専門委員会併催の第一種研究会を開催致します。ワークショッ
プと時間を分けておりますので、両方に参加可能です。是非、本
ワークショップと併せて御参加下さい。

会場 宮崎フェニックス・シーガイア・リゾート (宮崎市大字塩路字浜山 3083. 宮崎空港からタクシーで約 20 分. 宮崎駅からタクシーで約 15 分, バスで約 25 分. <http://www.seagaia.co.jp/> TEL [0985] 21-1111)

内容

基調テーマ:「新興国の近未来に役立つ ICT 技術—日本の経験を世界に活かす—」

講演内容:下記の“ワークショッププログラム (予定)”を御覧下さい。(内容, 講演順序, 時間等については変更する場合がございます。御了承のほど, お願い申し上げます。)

参加費 一般 30,000 円 学生 15,000 円

- ・参加費は当日受付にて現金でお支払い下さい。
- ・参加費は, ワークショップ資料代及び 8 日の昼食代を含みます。
- ・また, 7 日の懇親パーティ費も参加費に含まれております。
- ・懇親パーティに参加されない場合でも, また 8 日の昼食をおとりにならない場合でも, 上記参加費となります。御了承のほど, お願い申し上げます。
- ・同時開催致します第一種研究会の資料代は, 参加費には含まれておりません。
- ・参加申し込み後のキャンセルにつきましては, キャンセル料をお支払い頂く場合もございます。あらかじめ御承知おき下さい。

宿泊に関する御案内

宿泊はワークショップ, 第一種研究会が開催されます宮崎フェニックス・シーガイア・リゾートをお勧め致します。また, 旅行代理店とタイアップしまして, 航空券と宿泊がセットになっております, お得なパッケージを企画させて頂きました。詳細は後日公開させて頂きます。ワークショップ事務局では宿泊手配を申し受けておりませんので御注意下さい。

【ワークショップ参加申込方法】

下記ワークショップの HP より申込用紙を取得し, 所定事項を御記入の上, 下記宛にて FAX, または, E-mail により御送付願います。 <http://www.ieice.org/cs/in/ws/2012/index.html>

【参加申込先】

今井悟史 (富士通研ネットワーク方式研究部)
〒211-8588 川崎市中原区小田中 4-1-1
TEL [044] 754-2765, FAX [044] 754-2741
E-mail : in-ns-ws28-registration@ml.labs.fujitsu.com

【ワークショップ全般に関する問合せ】

ワークショップ全般に関しますお問い合わせは, 以下の者が承ります。なお, 参加申込 (含:参加費に関するお問合せ) については, 前項の参加申込担当 (富士通研・今井) 宛てにお願い致します。

村山純一 (IN 研究会幹事)
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-3949, FAX [0422] 59-5652
E-mail : in_ac_kanji-2007@mail.ieice.org

外山将司 (IN 研究会幹事補佐)
〒180-8585 武蔵野市緑町 3-9-11
TEL [0422] 59-4886, FAX [0422] 59-5652
E-mail : in_ac_kanji-2007@mail.ieice.org

[第 28 回情報ネットワーク・ネットワークシステム研究ワークショップ プログラム (予定)]

以下のプログラムを計画しております。しかし, 諸事情につき, 内容, 講演順序, 時間等の変更がある場合がございますので, 御了承のほどお願い申し上げます。最新の情報はワークショップホームページ (<http://www.ieice.org/cs/in/ws/2012/index.html>) で御確認下さい。

7 日 (ワークショップ)

I. 運営委員長挨拶 (14:00~14:10)

鈴木 光 (NTT コミュニケーションズ)

II. 招待講演 (1) (14:10~17:30)

招待講演 (1) (2) では, 講師として以下の皆様に御登壇を頂く予定です。

奥 英之 (東北大)

岡村耕二 (九大)

丸山不二夫 (早大)

岩田秀行 (TTC)

宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)

プログラムの詳細が決まり次第更新致します。

懇親会 (18:00~19:50) IN 研究賞・NS 研究賞表彰式含む

8 日午前 (8:30~12:00) 第一種研究会

ネットワークシステム・情報ネットワーク合同研究会 (第一種研究会) 一般発表

8 日午後 (13:30~15:00) ワークショップ

III. 招待講演 (2)

プログラムの詳細が決まり次第更新致します。

IV. パネルディスカッション (15:20~17:20)

新興国の近未来に役立つ ICT 技術—日本の経験を世界に活かす—

座長: 鈴木 光 (NTT コミュニケーションズ)

パネリスト: 招待講演者

9 日 (8:30~15:50) 第一種研究会

ネットワークシステム・情報ネットワーク合同研究会 (第一種研究会) 一般発表

主催 ネットワークシステム研究専門委員会, 情報ネットワーク研究専門委員会

●短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 森川博之 副委員長 加藤修三・原田博司

日時 平成 24 年 3 月 8 日 (木) 9:00~18:15

会場 横須賀リサーチパーク 1 号館 NICT 内 211 会議室 (横須賀市光の丘 3-4. <http://www2.nict.go.jp/w/w102/j/top/access/public.html> TEL [046] 859-3758 溝口匡人)

議題 WLAN, WPAN 関連技術, 一般

1. 円偏波を用いた 60 GHz 波帯直交偏波 MIMO 伝送におけるチャンネル容量の評価 ○江林達矢・笹目利章・梅比良正弘 (茨城大)
2. 実験用木造家屋を用いた無線 LAN への遮蔽量評価 ○宮下充史 (電中研)・高田潤一 (東工大)
3. Low Complexity Wide Range Synchronization Algorithm Based on 802.15.4 2.4 GHz Standards ○Daoud Burghal (Tokyo Inst. of Tech.)・Loay Khalaf (Univ. of Jordan)
4. A 60 GHz channel model for WPAN beam switching systems ○Lawrence Materum・Hirokazu Sawada・Shuzo Kato (Tohoku Univ.)
5. 60 GHz 帯近距離通信システム評価用信号発生・解析ソフトウェア ○吉原孝一・秋田米生・福島 章 (メダス)・柴垣信彦 (日立)
6. 60 GHz 帯通信のコンフォーマンステスト用信号発生・解析システムの検討 ○秋田米生・吉原孝一・福島 章 (メダス)・柴垣信彦 (日立)
7. 60 GHz 帯ミリ波 WLAN 通信システムの無線伝送評価

○船田龍平・原田博司・李 可人・高 菁 (NICT)

午後

併催のため RCS 研究会, SR 研究会の項を御参照下さい。

◆RCS 研究会, SR 研究会併催

参加費 一般 2,500 円, 学生 1,500 円

◎研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆研究会今後の予定

6 月 18 日 (月) 東北大東京分室 テーマ: WPAN, センサ開
連技術, 一般

【発表申込・問合せ先】

沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail : sawahiro@riec.tohoku.ac.jp

◎最新情報は, SRW 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~srw/>

主催 短距離無線通信時限研究専門委員会

●2012 年情報通信マネジメントワークショップ

委員長 桐葉佳明

日時 平成 24 年 3 月 15 日 (木) 午後 (併催する第一種研究会は
15 日と 16 日の両日を予定)

会場 沖縄県男女共同参画センター「ていする」(那覇市。
<http://www.tiruru.or.jp/>)

テーマ: 物と物とのコミュニケーションとその管理

趣旨

電気通信技術が誕生してから 150 年以上たった。そしてその誕生から 20 世紀後半まで電気通信技術はその大半の用途を遠く離れた人と人が快適に対話を図ることを目的に発展を続けた。しかし 20 世紀後半より爆発的に普及したインターネットにより, 人と物が対話を行う通信形態が発展し, そして今, クラウドという新たな技術により, 物と物が対話する形態が広がりつつある。このように急激に変貌しつつある通信の形態を見据え, 本ワークショップでは, 物と物のコミュニケーションを実現するための, 標準化, 技術の取組みをマネジメントの観点から, 幅広く紹介し, パネリストと参加者の皆様で意見を交流することを目的とする。

プログラム

1. [招待講演] M2M 標準化動向 (仮題)
坂口 尚 (情報通信技術委員会)
2. [招待講演] M2M 市場動向—ICT 市場の構造変化と社会基盤連携— (仮題)
桑津浩太郎 (野村総研)
3. [招待講演] 広域センサーネットワークの構築と応用 (仮題)
寺西裕一 (NICT)
4. [招待講演] 自動車における情報通信の課題と取り組み (仮題)
榎田和光 (本田技研)
5. [招待講演] キャリアの提供する「M2M」基盤技術—ドコモ環境ビジネスからの例示— (仮題)
坪谷寿一 (NTT ドコモ)
6. [招待講演] ベンダが提供する「M2M」基盤技術 (仮題)
泉 尚教 (NEC)

—パネルディスカッション—

パネルチェア: 桐葉佳明 (NEC)

パネリスト: 招待講演者 6 名

開始時間などプログラムの詳細は, ICM 研 HP を御覧下さい。

懇親会 15 日のプログラム終了後, パシフィックホテル沖縄にて, 懇親会を開催します。また, 本懇親会にて 2011 年の ICM 研究賞, ICM 功労賞, ICM 英語セッション奨励賞の表彰式を

行う予定です。

参加費 一般 10,000 円, 学生 5,000 円 (予定)

参加登録 併催する第一種研究会のプログラムが決定した時点で, ICM 研究会 HP に参加登録ページをオープン予定です。

【問合せ先】

菅内公德 (日立)

TEL [045] 862-8746

E-mail : icm-kanji@mail.ieice.org

<http://www.ieice.org/~icm/jpn/>

主催 情報通信マネジメント研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 3 回複雑コミュニケーションサイエンス (CCS) 研究会

委員長 梅野 健 (NICT)

副委員長 岡本英二 (名工大) 田中久陽 (電通大)

本研究会は, 情報通信技術の全ての階層, それを取り巻く情報通信環境, そして神経系や生物システム, 更には人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な研究対象を扱い, そこにある現実的問題の本質, 限界, そして, それらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目指します。「複雑コミュニケーションサイエンス」という標語は, こうした実用的・実体的システムにおける情報伝達とインタラクションのリアリティーにこそ, 豊かなサイエンスへと成長する多くの芽が潜在しているはずであるという, 我々の科学的直観を反映しています。

具体的には, 下記の分野に芽生える新領域への取組みを計画しています。

- 1) 通信システムの理論
 - 2) 分散ネットワークと分散アルゴリズムの理論
 - 3) 通信システムの基盤としてのパワー, エネルギー的側面に関する基礎研究
 - 4) 電力工学と通信システムの界面
 - 5) 上記 4 領域と関連する実証的アプローチ, 実システム上の諸問題
 - 6) 通信システムの技術, 知見から神経系, 生体システムを捉え直す研究
 - 7) 電磁波伝搬 (フェージングの問題等含む) の理論・モデリングの研究
 - 8) レーダ, トモグラフィーの計測分野で見られる非線形性, 更に信号レベルで現れる非線形ひずみ等の非線形性が本質となる諸問題
 - 9) レーザ等の非線形デバイスと通信システムの界面
- 上記の分野に関連する論文発表を広く募集致します。皆様の積極的な御発表・御参加をお待ち致しております。

期日 平成 24 年 3 月 17 日 (土)

会場 東京理科大学神楽坂キャンパス

発表申込締切 2 月 17 日 (金)

予稿原稿提出締切 3 月 9 日 (金)

参加費

発表者: 5,000 円 (一件につき)

聴講者: 一般 3,500 円 (2/29 (水) までに振込の場合 3,000

円), 学生無料

発表/参加申込: お名前, 御所属, 御連絡先をメールにて下記世話人まで御連絡下さい。参加費は, 事前振込みまたは会場受付にてお支払い下さい。銀行振込口座情報は, 参加申込み後にお知らせ致します。

【発表/参加申込・問合先】世話人

岡本英二 (名工大)

E-mail: okamoto@nitech.ac.jp

◎最新情報は, 当研究会のホームページを御覧下さい。

<http://synchro4.ee.uec.ac.jp/CCS/>

主催 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

●第3回超高速光エレクトロニクス研究会

委員長 神成文彦 (慶大)

超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会は, 超高速光デバイス・電子デバイスの開発を加速し, テラビット通信をはじめとする超高速光システムへの応用展開を議論する委員会です。このために, 物理・化学・生物・医学系の超高速光科学基礎分野から光デバイス・電子デバイスの応用に至る広い分野の研究者が, 本技術について集中的に議論する場を提供しております。本委員会では, フェムト秒・アト秒基礎科学分野を中心とした委員グループ企画による下記研究会を開催致します。表記の招待講演の他に一般講演を募集しますので, 期日までに所定の申込先まで御連絡下さい。

期日 平成24年3月19日(月)

会場 東京大学物性研究所(東大柏キャンパス)6階会議室

テーマ: 高強度短波長光源開発とその応用

内容 真空紫外から軟X線領域の短波長コヒーレント光源である高次高調波光源とX線自由電子レーザー(XFEL)について, その装置開発と応用研究についての研究発表・討論を行います。

招待講演(予定)

コンパクト高調波発生用光源の開発

渡部俊太郎(東京理科大)

超短パルス極端紫外光によるヘリウム原子のイオン化

石川顕一(東大)

高強度高次高調波の発生と応用

緑川克美(理研)

高繰り返しVUV光コム精密原子分光への応用

井戸哲也(NICT)

高次高調波によるシード型FEL

富樫格(JASRI)

XFEL SACLAY

田中均(理研)

光のゆらぎで探る: 極短波長自由電子レーザー場中の原子過程

菱川明榮(名大)

XFEL及びEUV-FELを用いた固体内励起状態の研究

米田仁紀(電通大)

【参加資格・参加申込】

参加資格 特に設けておりません。

参加費 一般 1,000円 学生 無料(当日現金にてお支払い下さい)

交流会 研究会終了後, 東大柏キャンパス内にて交流会を予定しております。会費等詳細は後日ホームページ(<http://www.ieice.org/femto/jpn/>)で御案内します。

【一般講演の申込】

下記連絡先まで2月17日までに電子メールでお問合せ下さい。追って必要事項をお知らせ致します。

【問合先】第3回研究会現地世話人

鍋川康夫(理研)

E-mail: nabekawa@riken.jp

板谷治郎(東大物性研)

E-mail: JItatani@issp.u-tokyo.ac.jp

主催 超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会

—各種証明, 閲覧の手数料について—

電子情報通信学会では, 各種の証明, 閲覧について, 下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお, 突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので, 必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は, TEL [03] 3433-6692

種類	内容	料金(税込)	備考
証明手数料	特許証明	会員 200円/件 非会員 500円/件	
	在会証明書	無料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会員 無料 非会員 300円/冊 コピー 10円/枚	料金は1冊(綴)ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は, 非会員の料金となります。

● 2012年総合大会開催案内 ●

本総合大会は、4 ソサイエティ、1 グループが合同で開催する大会です。奮って参加されますようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2012年3月20日(火)~23日(金)
 会 場 岡山大学津島キャンパス (岡山市)
 (会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
 交 通 岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場から【47】系統
 「岡山理科大学」行きに乗車の上、「岡大西門」下車、徒歩約
 3分。または、岡山空港 2 番 3 番乗り場から「岡山市内方
 面」行に乗車の上、「岡山大学筋」で下車、徒歩約 7分。

2012年総合大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて (1月28日) 公開予定です。

◎聴講参加・冊子講演論文集予約申込みについては、上記から Web 登録をお願い致します。

※ソサイエティ大会に引続き団体・機関の図書館等の法人向けに継続購入の申込募集を行います。法人には法人用 DVD を大会終了後、2週間後に御送付致します。

<予約申込期限>

2月20日(月)締切厳守(電話による予約は不可)
 事前予約されますと、予約物を3月6日~3月8日までに請求書を同封して発送致します。
 また、3月12日(月)までに予約物が届いていない場合には必ず御連絡下さい。大会終了後では対応できない場合があります(発送・請求関係連絡先：tk-tyoko@ieice.org)。

<予約のお勧め (DVD) >

大会講演発表の申込み・投稿の電子化、講演論文集・プログラムの DVD 化により、講演内容等の必要情報の入手が一段と便利になります。聴講者におかれましても、是非この DVD の機能を有効に活用するため、事前予約をお勧め致します。

御予約頂きますと、3月6日~3月8日までに索引機能を充実した DVD (全講演・プログラム) を発送致しますので、聴講の下調べ等にお役立て下さい。

なお、大会会場でも当日参加を受け付けておりますが、当日 DVD を活用する設備がございませんので、その旨御了承下さい。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について (予定)
 <聴講参加> (本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)

☆ 2010年総合大会から、事前聴講申込者に対する参加費の割引制度を実施致しております。事前申込みの割引制度を御利用頂くと当日申込みより 2 割引の参加費で大会聴講が可能となります。更に、非会員学生の聴講参加費を値下げ致しました。皆様、奮って御参加下さい。

【事前申込み (DVD 含む)】

会 員 名誉員・正 員	8,000 円
学生員 (DVD 購入)**	2,400 円
60 歳以上の会員***	2,400 円

非会員 社会人	16,000 円
学生 (DVD なし)	2,400 円
学生 (DVD 購入)	4,800 円

【当日申込み (DVD 含む)】

会 員 名誉員・正 員	10,000 円
学生員 (DVD なし)*	無料
学生員 (DVD 購入)**	3,000 円
60 歳以上の会員***	3,000 円
非会員 社会人	20,000 円
学生 (DVD なし)	3,000 円
学生 (DVD 購入)	6,000 円

【凡 例】
 * DVD を必要とされない「学生員」は無料で聴講できますので事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きますので御持参下さい。)

** 会場で会員証を提示して下さい。
 ***年金以外の収入がない方が対象となります。

※この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。
 ※電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

<法人価格申込>

1. DVD 1 枚(合本付)	90,000 円
2. DVD 1 枚	70,000 円

<冊子講演論文集>

論文集の内容は多少変わることもございますので、御了承下さい。
 冊子講演論文集は、予約部数に基づいて論文集を作成しておりますので、予約期限を過ぎますとお求めに出来ない場合がありますので、くれぐれも御注意下さい。
 (発行日：平成 24 年 3 月 6 日 / 価格は消費税込み)

各分冊講演論文集の内容・価格については、前記ホームページを御覧下さい。

<支払方法>

予約物に同封して請求・納品・見積・振込用紙をお送り致しますので御利用頂き、送金をお願い致します(振込先口座等は請求書に記載)。

申込みの問合先
 〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
 (社)電子情報通信学会 集会事業部 大会論文集予約係
 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659
 E-mail : taikai@ieice.org
 発送・請求の問合先 E-mail : tk-tyoko@ieice.org

今回の総合大会では男女共同参画委員会の活動の一環として予約・有料制の託児所を開設します。詳細は下記 URL に案内を掲示しますので御利用下さい。(http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html) (2月上旬を予定)

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

——関西支部——

●電気四学会関西支部専門講習会「映像蓄積技術の最新動向」

増加する映像情報の蓄積には、蓄積媒体の高容量化が図られる一方で、ネットワーク上での蓄積など新たな展開も進められています。

今回は、映像蓄積をテーマに各方面の方々に最新の動向を御講演頂きますので、是非御参加下さい。

日時 平成24年2月24日(金) 9:45~17:15

会場 中央電気倶楽部 513号室(大阪市北区堂島浜 2-1-25, 堂島地下街南詰を右側に上がり, 右へ約50m, 左側のレンガ造り建物)

講師と題目

- (1) 開講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部支部長
- (2) 放送用ストレージの変遷と今後の展望
北原淑行(富士フィルム)
- (3) 超高密度ナノビット磁気記録 宮本治一(日立)
- (4) LTO技術とその適用 藤原 忍(日本IBM)
- (5) マルチデバイス時代のクラウド型映像変換プラットフォーム
遠藤雅和(NTTコミュニケーションズ)
- (6) ファイルベースの考え方 菊池秀彦(日本テレビ)
- (7) モバキャスのサービスと技術 大矢智之(mmbi)
- (8) 閉講の挨拶 映像情報メディア学会関西支部庶務幹事

聴講料 主催学会会員(正員10,000円, 准員・学生員 無料)
会員外(一般15,000円, 学生5,000円)

定員 80名(定員になり次第, 締め切らせて頂きます。)

申込方法 講習会題目・開催日・会員種別・氏名・連絡先(会社学校名・所属・郵便番号・所在地・電話番号)等を映像情報メディア学会関西支部のHP(<http://www.ite.or.jp/kansai/>)からお申込み下さい。後日, 参加章と請求書を郵送します。なお, FAX, E-mailの場合は下記宛てにお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

——本会・ソサイエティ・

研究専門委員会等主催・共催——

●大川賞受賞記念特別シンポジウム

主催 電子情報通信学会, 慶應義塾大学

共催 財団法人 大川情報通信基金(大川財団)

協力/協賛 TBD(情報処理学会, 映像情報メディア学会, 画像電子学会, 数学系の学会にそれぞれ協力を打診)

日時 3月16日(金) 14:00~17:00(無料)

17:30~懇親会(参加費)

場所 慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール(234名)/懇親会はキャンパス内施設

プログラム:

第一部 大川賞記念特別講演 村井 純

第二部 大川賞記念特別講演 イングリッド・ドブシー

第三部 パネル討論「研究者として生きる」(※同時通訳付きを予定)

講演会・講習会・学術研究集会等, 本会が協賛等のもの

パネリスト: イングリッド・ドブシー, 村井 純

モデレータ: TBD

(第三部は, 次世代の担い手である高校生~大学生に向けて, お二人それぞれの分野における「研究」ということについて, その姿勢, 素晴らしさ, 社会にとっての重要性等, お二人からのメッセージを伝えるようなパネル討論を予定)

プログラム委員会(敬称略)

安田 浩(電子情報通信学会会長)

藤原 洋(インターネット総合研究所代表取締役所長)

河添 健(慶應義塾大学環境情報学部教授)

中村 修(慶應義塾大学環境情報学部教授)

——本会が協賛等のもの——

(※は参加費割引あり)

東京大学 VDEC D2T シンポジウム 2012

期日 平成24年2月10日(金)

会場 東京大学武田先端知ビル(東京都文京区)

問合先 東京大学大規模集積システム設計教育研究センター

小松 聡 TEL [03] 5841-0233, FAX [03] 5841-1093

komatsu@vdec.u-tokyo.ac.jp

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp>

文部科学省ナノテクノロジー・ネットワークプロジェクト「第10回ナノテクノロジー総合シンポジウム(JAPAN NANO 2012)」

期日 平成24年2月17日(金)

会場 東京国際展示場(東京都江東区)

問合先 物質・材料研究機構国際ナノテクノロジーネットワーク

拠点運営室長 平原奎治郎

TEL [029] 859-2777

第7回応用新産業創出フォーラム(※)

期日 平成24年2月24日(金)

会場 慶應義塾大学三田キャンパス(東京都港区)

問合先 同フォーラム運営委員 長嶋千恵(豊田中央研究所)

TEL [0561] 71-7642, FAX [0561] 63-5328

forum2012@mosk.tytlabs.co.jp

第7回ロボット聴覚システム HARK 講習会

期日 平成24年3月9日(木)

会場 名古屋工業大学(名古屋市)

問合先 HARK12-Reg@zeus.kuis.kyoto-u.ac.jp

映像表現に関する特別講演と学生作品・研究発表会—映像表現に関する作品制作や技術的研究などについての発表会—

期日 平成24年3月16日(金)

会場 東京工芸大学中野キャンパス 芸術情報館(東京都中野区)

問合先 東邦大学理学部情報科学科 新谷幹夫

TEL & FAX [047] 472-1277 shinya@is.sci.toho-u.ac.jp

2012年第37回光学シンポジウム「光学システム・光学素子の設計, 製作, 評価を中心として」

期日 平成24年6月14日(木), 15日(金)

会場 東京大学生産技術研究所 An棟 コンベンションホール(東京都目黒区)

問合先 ニコンコアテクノロジーセンター光技術研究所

瀧川雄一
TEL [03] 3773-8296, optsympo37@gmail.com

第31回電子材料シンポジウム (EMS-31)

期日 平成24年7月11日(水)~13日(金)
会場 ラフォーレ修善寺(伊豆市)
問合せ 山口智広 工学院大学工学部情報通信工学科
TEL [042] 628-4653, FAX [042] 625-8982
ems31-query@ems.jpn.org

平成24年度工学教育研究講演会

期日 平成24年8月22日(水)~24日(金)
会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス(東京都江東区)
問合せ 日本工学教育協会 川上 TEL [03] 5442-1021
FAX [03] 5442-0241 kawakami@jsee.or.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

フレキシブル・プリンテッド・エレクトロニクス国際会議2012 (ICFPE2012)

期日 2012年9月6日(木)~8日(土)
会場 東京大学安田講堂, 工学部新2号館(東京都文京区)
問合せ 東京大学教授 染谷隆夫
TEL [03] 5841-0411, FAX [03] 5841-6709
office@icfpe.jp

IUMRS-ICEM2012 (※)

期日 2012年9月23日(日)~28日(金)
会場 パシフィコ横浜(横浜市)
問合せ IUMRS-ICEM2012 運営事務局
TEL [03] 3503-4681, FAX [03] 3597-0535
iumrs-icem2012@sntt.or.jp

1st IEEE Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2012)

期日 2012年10月2日(火)~5日(金)
会場 幕張メッセ(千葉市)
問合せ GCCE 2012 Conference Chair 野中誉子(湘南工科大学工学部人間環境学科講師)
TEL [0466] 30-0325, FAX [0466] 36-1594

IWAIT 2013

期日 2013年1月7日(月), 8日(火)
会場 名古屋大学(名古屋市)
問合せ 如澤裕尚 NTTサイバースペース研究所
TEL [046] 859-3382, FAX [046] 855-1735
jozawa.hirohisa@lab.ntt.co.jp

第18回人工生命とロボットに関する国際シンポジウム (AROB 18th'13)

期日 2013年1月30日(水)~2月1日(金)
会場 Daejeon Convention Center(韓国大田市)
問合せ AROB事務局(ALife Robotics内)
TEL & FAX [097] 594-0181
arobsecr@alife-robotics.co.jp

第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム

期日 2013年6月2日(日)~9日(日)
会場 名古屋国際会議場(名古屋市)
問合せ 同シンポジウム事務局(日本航空宇宙学会内)
担当 清水
TEL [03] 3519-4808, FAX [03] 3519-9998
shimizu@ists.or.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第9回「江崎玲於奈賞」——

候補者の対象 日本国内の研究機関においてナノサイエンスあるいはナノテクノロジーに関する研究に携わり、世界的に評価を受ける顕著な研究業績を挙げた研究者、原則1名。
賞の内容 本賞(賞状), 副賞(1,000万円), 記念品(賞牌)
推薦方法 所定の用紙に必要事項記載の上、平成24年2月10日(金)までに本会事務局サービス事業部調査課宛て提出のこと。本会からの推薦候補者は理事会で選考し会長名で推薦致します。所定の用紙は下記URLからダウンロードすること。本会からの候補者推薦可能件数1件以内。
問合せ 茨城県科学技術振興財団 担当 斎藤
TEL [029] 301-2532, FAX [029] 301-2498
kikaku7@pref.ibaraki.lg.jp
<http://i-step.org/prize/esaki/index.htm>

——第37回井上春成賞——

対象技術

- (1) 大学、研究機関等の独創的な研究成果であること
- (2) 前項の研究成果を受けて企業が開発し、企業化した技術(販売実績があるもの)であること(研究段階から開発、企業化まで自社のみで行ったもの並びに研究者及び企業等の両者が外国籍の場合は対象となりません。)
- (3) 科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献した技術であること
- (4) 企業が実質的販売活動を始めてから、原則5年以内の技術であること
- (5) 大河内記念賞、日本産業技術大賞、市村賞本賞、恩賜発明賞を受賞した技術を除く

表彰件数 原則として2件

賞の内容 表彰状, ゴールドメダル(純金製), 研究奨励金各100万円

公募締切 平成24年3月31日(土)(当日消印有効)

問合せ 井上春成賞委員会事務局(科学技術振興機構内) 総務部総務課
TEL [048] 226-5601, FAX [048] 226-5651
<http://inouesho.jp/>

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会出版事業部
TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●電気通信大学

公募人員 大学院情報理工学研究科情報・通信工学専攻 准教授 1名

専門分野 宇宙通信環境（宇宙通信工学，電離圏環境など）

応募締切 平成24年2月20日（月）必着

問合先 情報・通信工学専攻 田口 聡
TEL [042] 443-5204, satoshi.taguchi@uec.ac.jp
詳細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●電気通信大学

公募人員 情報理工学研究科先進理工学専攻 教授または准教授 1名

専門分野 光波センシングに関する分野，広い意味で光波特性を基とする応用計測分野

応募締切 平成24年4月9日（月）必着

問合先 先進理工学専攻教授 富田康生
TEL [042] 443-5164, ytomita@ee.uec.ac.jp
<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●日本工業大学

公募人員 電気電子工学科 教授，准教授または助教合計2名

専門分野 ①情報通信に関する分野，②情報エレクトロニクスに関する分野

応募資格 博士の学位を有し，①または②の分野において，教育と研究指導を担当できる方。なお，助教（専任講師相当）の場合，学部の教育と研究指導を担当できる方

着任時期 平成24年9月1日

応募締切 平成24年3月5日（月）必着

問合先 電気電子工学科主任 石川 豊, yishika@nit.ac.jp
詳細 <http://www.nit.ac.jp> の what's new

●防衛大学校

公募人員 電気情報学群通信工学科 助教1名

専門分野 光通信工学，ミリ波・マイクロ波フォトニクス，光ファイバ工学関連

応募資格 着任時に博士の学位を有するかまたは取得見込みの方

着任時期 平成24年10月1日

応募締切 平成24年3月9日（金）必着

問合先 電気情報学群通信工学科 小野寺紀明
TEL [046] 841-3810（内線3371）, noriaki@nda.ac.jp
詳細 下記のホームページを御参照下さい
<http://www.mod.go.jp/nda/>

●法政大学

公募人員 情報科学部デジタルメディア学科 教授または准教授1名

専門分野 コンピュータグラフィックスなど

応募資格 博士の学位を有し，専門分野での研究業績があり，学部・大学院の教育と研究を担当できる方

着任時期 平成24年9月1日

応募締切 平成24年3月31日（土）必着

問合先 情報科学部長 花泉 弘
TEL [042] 387-4558, hana@hosei.ac.jp

詳細 <http://www.hosei.ac.jp/saiyo/index.html>

●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員 情報科学研究科 助教1名（任期付・再任制度あり）

専門分野及び関連する職務 集積システム分野（計算機システム・情報機器の中核構成要素である集積回路に係る回路・システム論・大規模集積回路やSoCのための回路・システム理論，解析・シミュレーション，設計方法，最適化手法，EDAシステム開発，検証，テスト等）。計算機システム，集積回路に関する導入的講義，ゼミ指導等

応募締切 平成24年4月20日（金）必着

問合先 情報科学研究科長 赤木正人, akagi@jaist.ac.jp

詳細 <http://www.jaist.ac.jp/>

●東京農工大学

公募人員 通信システム工学専攻 准教授1名

専門分野 次世代モバイル通信，コグニティブ無線など

応募資格 博士の学位を有し，専門分野の発展に貢献できる方

着任時期 平成24年10月1日

応募締切 平成24年5月31日（木）必着

問合先 電気電子工学科 鈴木康夫
TEL [042] 388-7917, ysuzuki-@cc.tuat.ac.jp

詳細 <http://www.tuat.ac.jp/outline/kyousyoku/kyouin/index.html>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL：<http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 4月号掲載分 平成24年2月24日（金）必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので，併せて御覧下さい。

URL：<http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

—平成 24 年度会費お払込みのお願い—

平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）の会費（追加ソサイエティ代等含む）のお払込みを 11 月末にお願いしましたが、12 月末で入金の確認がとれない方につきましては、1 月末に再度振込用紙をお送りしますのでお支払いをお願い致します。

なお、本年 5 月末日までにお支払いの確認がとれない場合は 7 月号から会誌の送付及び論文誌の閲覧が停止してしまいますので、お早めのお支払いをお願い致します。

※法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成 24 年 4 月末にお送りする予定です。

—登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい—

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認／変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでの Web 決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満 60 歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
- (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX／郵送して頂く形式をとっております。

—英文論文誌 B レターカテゴリ—
廃止について—

通信ソサイエティ英文論文誌編集委員会

現在、英文論文誌 B には Paper, Letter の二つのカテゴリがありますが、2012 年 5 月 31 日を最後に Letter の投稿受付を停止し、英文論文誌 B は Paper（フルペーパー）のみの構成とすることになりましたので、お知らせ致します。ただし、英文論文誌 B に掲載された論文に対する紙上討論としての Letter は引き続き投稿を受け付けます。

Letter カテゴリが対象としていた速報を目的とした短編の論文については、より速報性に優れたオンラインレター誌 ComEX (<http://www.comex.ieice.org/>) (2012 年 3 月 1 日投稿受付開始, 2012 年 6 月 1 日創刊) に御投稿頂きますようお願い致します。

—IEICE Electronics Express (ELEX) の
掲載料の変更について—

IEICE Electronics Express 編集委員会

電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティでは、英文電子ジャーナル誌 IEICE Electronics Express (ELEX) の掲載料を改訂し、2012 年 3 月以降の投稿論文から新掲載料を徴収することになりましたので、御協力のほどよろしくお願い致します。

新掲載料におきましては、刷り上がりページ数と電子ファイル形式により料金を変更させて頂いております。

刷り上がりページ数が 6 ページ以下の場合、LaTeX 形式の原稿に対する掲載料は論文 1 件当たり、30,000 円、MS-Word 形式の原稿では論文 1 件当たり、40,000 円です。

一方、刷り上がりページ数が 7 ページ以上、12 ページ以下の場合、LaTeX 形式の原稿に対する掲載料は論文 1 件当たり、80,000 円、MS-Word 形式の原稿では論文 1 件当たり、100,000 円です。

刷り上がりページ数が 13 ページ以上の論文は受理致しませんので御注意願います。また動画などのマルチメディアファイルを含む場合は、ファイル 1 点当たり別途 3,150 円が加算されますので御留意願います。

※上記表示価格は消費税 5% を含みます。

—テニュアトラック普及・定着事業の
御案内—

文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課

テニュアトラック制とは、公正で透明性の高い選考により採用された若手研究者が、審査を経てより安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者としての経験を積むことができる仕組みです。

文部科学省では、若い時期に自立して研究できる環境を整備し、優秀な若手研究者を育成するテニュアトラック制の普及・定着を推進するため、平成 23 年度より大学等を対象に以下のような支援を行っています。

【支援内容】

- 採用されたテニュアトラック教員に、研究費を支援（初年度：1,000 万円（上限）、2 年度目：初年度の半額程度）
- 採用されたテニュアトラック教員の中から、特に優秀な者を選定し、研究費・人件費に使える経費（1,500 万円）を上乘せして支援
- テニュアトラック制を導入する機関には、テニュアトラック教員の公募・審査や育成などテニュアトラック制を実施するための経費を支援

【支援対象機関】

大学、大学共同利用機関、独立行政法人

【補助対象となるテニュアトラック教員の要件】

- 博士号取得後 10 年以内の若手研究者を対象とすること
- 一定の任期（5 年）を付して雇用すること
- 公募を実施し、公正・透明な選考方法で採用していること
- 研究主宰者（Principal Investigator: PI）として、自立して研究活動に専念できる環境（例：研究資金の措置、研究支援体制の充実、研究スペースの確保、研究活動時間が全仕事時間の 70% 以上であること）が整備されていること

○任期終了後のテニュアポスト（安定的な職）が用意されていること（昇任は必須条件ではありません。）

文部科学省では、「テニュアトラック普及・定着事業」の平成24年度の新規公募を平成24年1月上旬に行う予定です。

※テニュアトラック普及・定着事業の支援内容や公募に関する情報については、文部科学省及び科学技術振興機構 HP を御覧ください。

文部科学省 HP：http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/wakate/index.htm

科学技術振興機構 HP：<http://www.jst.go.jp/shincho/program/wakate.html>

【問合せ先】文部科学省科学技術・学術政策局基盤政策課基礎人材係
TEL [03] 6734-4021 jinzai@mext.go.jp

——平成24年2月号及び3月号
和・英論文誌特集・小特集テーマ——
和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

2月号 [英文] Analog Circuit Techniques and Related Topics
(通信ソサイエティ)

2月号 [和文] 通信技術の未来を切り拓く学生論文

3月号 [英文] New/Next Generation Photonic Networking and Future Networks

(エレクトロニクスソサイエティ)

2月号 [英文] Photonic Devices using Nanofabrication Technology and Their Applications

3月号 [英文] Josephson Junctions—Past 50 years and Future—
(情報・システムソサイエティ)

2月号 [和文] データ工学と情報マネジメント

2月号 [英文] Reconfigurable Systems

Architectures, Protocols, and Applications for the Future Internet

3月号 [和文] 学生論文

3月号 [英文] Foundations of Computer Science

——「産・官・学共同研究」募集のお知らせ——

下記機関では「共同研究、受託研究」のテーマ等を、広く社会から募集しています。

関心をお持ちの方は記載の URL にて詳細を御確認下さい。(大学等にて募集案内の掲載を希望される場合は、事務局サービス事業部 (service@ieice.org) まで原稿をお送り下さい)

- ・機関名：産業連携への窓（全国版）
URL：<http://zeus.crc.uec.ac.jp/model/>
(国立大学56校の共同研究センターの情報を掲載)
- ・機関名：早稲田大学理工学総合研究センター
URL：<http://www.rise.waseda.ac.jp/>
- ・機関名：中央大学理工学研究所
URL：<http://www.ise.chuo-u.ac.jp/TISE/index-j.htm>
- ・機関名：立命館大学産官学交流事業推進室 BKC リエゾンオフィス
URL：<http://www.ritsumei.ac.jp/jimu/bkc-liaison/index.html>
- ・機関名：明治大学知的資産センター
URL：<http://www.meiji.ac.jp/jigyoka/tloindex.htm>
- ・機関名：東京電機大学産官学交流センター
URL：<http://www.dendai.ac.jp/crc/>
- ・機関名：関西大学先端科学技術推進機構
URL：<http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/>
- ・機関名：愛知工業大学総合技術研究所
URL：<http://aitech.ac.jp/res/>
- ・機関名：東京大学国際・産業共同研究センター
URL：<http://www-db.ccr.u-tokyo.ac.jp>
- ・機関名：東京大学空間情報科学研究センター
URL：http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/research_activities/joint-research.html/

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始致しました。一般公開は、会員限定β版での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



—Special Section on Recent Progress in
Verified Numerical Computations—

We are pleased to announce the special section of IEICE's journal, "Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE" to be published in January 2013. The major part of this issue will consist of the special section focusing on recent progress in the field of verified numerical computations. The topics of interest within the scope of this Special Section include, but are not limited to, the following areas:

- Computer-assisted proofs for nonlinear problems using verified numerical computations
- Verified numerical linear algebra as the base of treating nonlinear problems
- Verified numerical computations for dynamical systems
- Mathematics for verified numerical computations
- Applications of verified numerical computations in science and engineering

The submitted papers will be handled by the Editorial Committee of the Special Section, and peer-reviewed by anonymous referees. The deadline of the paper submission is **April 10, 2012**. Prospective authors are requested to follow carefully the submission process described below:

- (1) Submit a paper using the IEICE Web site (https://review.ieice.org/regist_common_e.aspx?society=NOLTA).

Authors should choose "[Special-EN] Verified Numerical Computations" as a "Type of Issue (Section)/Transactions" on the line screen. Do not choose "[Regular-EN]".

- (2) Send "Copyright Transfer and Page Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by E-mail, FAX or postal mail to the following address:

Katsuhisa OZAKI, College of Systems Engineering and Science, Shibaura Institute of Technology
307 Fukasaku, Minuma-ku, Saitama-shi, Saitama 337-8570, Japan

E-mail: ozaki@sic.shibaura-it.ac.jp

FAX: +81-48-720-6080 (please attach a cover sheet indicating the sender's name)

Please do not forget to send "Copyright Transfer and Article Charge Agreement" and "Confirmation Sheet of Manuscript Registration" by **April 10, 2012**. We cannot start the review process without them, even if we receive the manuscript. For additional guidelines on manuscript preparation, please visit the following web site: <http://www.nolta.ieice.org/authors.html>

Please note that if the paper is accepted, then the authors are requested to pay for the article charges covering partial costs of publications. The article charges cannot be waived.

The article charges until 30 pages:

One of the authors is a member of IEICE :	60,000 JPY
Otherwise :	65,000 JPY

[IMPORTANT NOTICE]

Both members and nonmembers of IEICE are invited to submit manuscript. However, we recommend that the authors unaffiliated with IEICE apply for membership: <http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

Editorial Committee of the Special Section

Guest Editors

Zin ARAI (Hokkaido University)

Takeshi OGITA (Tokyo Woman's Christian University)

Yoshitaka WATANABE (Kyushu University)

Secretaries of the Special Section

Kenta KOBAYASHI (Hitotsubashi University)

Katsuhisa OZAKI (Shibaura Institute of Technology)

Takashi HISAKADO (Kyoto University)

—ネットワーク仮想化及びコンピューティング
とネットワークの融合プラットフォーム

(英文論文誌 B) 論文募集—

ネットワーク仮想化及びコンピューティングと
ネットワークの融合プラットフォーム

小特集編集委員会

インターネットを代表とする情報通信システムは、社会・経済活動を支える必要不可欠な社会インフラになりつつあり、ユーザの多様なニーズに迅速に応える柔軟性のあるサービスの提供が望まれています。また、コンピューティングとネットワークの融合が急速に進展し、コンピュータ・ネットワーク・ストレージ全ての資源を統合してダイナミックかつエラスティックに活用する利便性が注目を浴びつつあります。進化しつつあるネットワーク仮想化はそのようなインフラを実現する鍵の技術であり、カスタマイズした多様なネットワークの共存、最新機能の迅速な導入、資源の独立化により相互干渉しないプログラマブルなネットワーク、巨大化する情報通信システムの安定した運用管理、クラウドコンピューティングのネットワークへの伸展、及びセキュアなサービス基盤の提供が期待されています。そこで、多様なサービスネットワークを論理的に実現するネットワーク仮想化、及び新機能を迅速に導入するコンピューティングとネットワークの融合プラットフォーム技術等の研究開発を促進するため、本小特集号(2013年1月号掲載)を企画致します。

1. 対象分野

ネットワーク仮想化及びコンピューティングとネットワークの融合プラットフォームに関する以下の分野を主な対象とします。

- 多様なカスタマイズネットワークを実現するネットワーク仮想化アーキテクチャ
- ネットワーク仮想化をベースとした革新的アプリケーション
- ネットワーキング・コンピューティングの融合
- マルチレイヤ統合制御、及びネットワーク仮想化運用管理技術
- ネットワーク仮想化におけるリソースモニタリング技術
- ネットワーク仮想化をベースとしたデータセンターネットワーク技術
- オペレーティングシステム・ネットワーク仮想化技術
- ネットワーク仮想化、セキュアサービス提供におけるセキュリティ技術

- ・これら上記技術に関連するテストベッド関連研究、実験成果等

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

既存技術とは大きく異なる斬新なアイデア・技術に関する多くの論文を募集します。今回はアイデアを中心に論述したポジションペーパーをレター形式にて募集します(扱い種別はLETTERとなります)ので、多数の論文投稿をよろしくお願い致します。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EB] Network Virtualization, and Fusion Platform of Computing and Networking を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。ポジションペーパー投稿では“Type of Manuscript”で [Letter] を選択し、投稿ページ最後にあるコメント欄に「ポジションペーパー投稿」と明記して下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日である2012年5月11日(金)までに下記送付先へ電子メール添付、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成24年5月11日(金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

鈴木敏明

日立製作所中央研究所ネットワークシステム研究部

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町292番地

TEL [045] 860-2177, E-mail: nv+paper_1@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 中尾彰宏(東大)

幹事 鈴木敏明(日立), 原井洋明(NICT)

委員 飯田勝吉(東工大), 石原智宏(富士通研), 工藤知宏(産総研), 後藤滋樹(早大), 佐藤一郎(NII), 重野寛(慶大), 寺岡文男(慶大), 中内清秀(NICT), 西原基夫(NEC), 長谷川亨(KDDI研), 森達哉(NTT), 村田正幸(阪大)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので

論文特集号原稿募集

御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——通信技術の進展を支える学生論文特集号

(和文論文誌B) 論文募集——

通信技術の進展を支える学生論文特集編集委員会

日々高度化する通信技術の分野で、日本が今後も高い技術力を維持し世界をけん引していく存在となるためには、将来の活躍が期待できる学生を多く輩出し、優れた研究者・技術者となるよう育てていくことが重要と考えています。そこで和文論文誌では、学生等の若手研究者に活躍の場を提供し、人的基盤の拡充・充実・強化の一助となるべく、学生が執筆した論文の特集号を発行します。

対象とする分野は通信技術全般とし、論文の筆頭著者を学生または学生のときの成果に限定し、年度内に発行(2013年2月号)することで、研究開発活動をより円滑に継続できることを配慮しています。博士課程学生、修士課程学生、学部生、更には社会人博士課程等の学生の皆様からの積極的な御投稿をお待ちしております。特に、優れた研究成果が得られているものの論文投稿の経験がない方、あるいは少ない方々には、是非、この機会を利用して論文発表されることを期待致します。

1. 対象分野

(和文論文誌Bが対象としている全技術分野)

基礎理論、電子通信エネルギー、伝送方式・機器、光ファイバ、光ファイバ伝送、ネットワークシステム、ネットワーク、インターネット、ネットワーク管理・オペレーション、アンテナ・伝搬、電磁環境・EMC、無線通信技術、地上無線通信、放送技術、衛星通信、計測、探査、航行・誘導・制御方式、宇宙利用システム、マルチメディアシステム

2. 対象論文

大学等に籍を置く学生(大学院生・社会人学生を含む)が筆頭著者である論文に限ります。ただし、投稿時点で大学等を卒業若しくは修了していたとしても学生のときに行った研究であれば受け付けることとします。

3. 論文の執筆と取扱い

- ・論文の執筆、査読の取扱いは一般論文と同一とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。
- ・論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。
- ・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

4. 主なスケジュール

- ・投稿締切: 2012年5月24日(木) 厳守
- ・初回判定通知: 2012年7月中旬を予定
- ・最終判定通知: 2012年10月中旬を予定
- ・発行月: 2013年2月号

5. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification of completion for Temporary

Registration) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

郵送物送付先:

(社)電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館
郵送時、封筒に「学生論文特集」と朱記して下さい。

6. 特集編集委員会

委員長 高橋応明(千葉大)
幹事 佐波孝彦(千葉工大)
委員 通信ソサイエティ和文論文誌編集委員

7. 問合せ先

佐波孝彦(千葉工業大学情報工学科)
TEL [047] 478-0532, FAX [047] 478-0549
E-mail: saba@m.ieice.org

——進化するマイクロ波・ミリ波フォトニクス 技術小特集号(英文論文誌C) 論文募集——

進化するマイクロ波・ミリ波フォトニクス 技術小特集編集委員会

マイクロ波・ミリ波技術とフォトニクス技術を融合した新しい技術分野に関する研究が内外で活発化しています。すなわち、これまで無線通信を中心として研究開発が進められてきたマイクロ波・ミリ波技術と、光ファイバ通信を中核とするフォトニクス技術とを有機的に結合することによって、従来の概念を越えた新たな段階の技術分野が形成されつつあります。本小特集(平成25年2月号)では、平成24年4月に開催される Asia Pacific Microwave Photonics Conference (APMP 2012) で発表された論文を中心とし、更に、その他にも広く本分野の最新技術の論文を募集するものです。奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波帯光デバイス/光デバイスによるマイクロ波・ミリ波の発生と制御/光制御マイクロ波・ミリ波デバイスと回路/光によるマイクロ波・ミリ波計測技術/高速光 A-D/D-A 変換/光波及び電磁波バンドギャップ構造と応用技術/テラヘルツ波並びに応用技術/光マイクロ波のための MEMS 技術/光ファイバを用いたマイクロ波・ミリ波の伝送/光無線応用技術/光制御フェーズドアレーアンテナ/新しい変調方式による光伝送システム/光マイクロ波技術の宇宙応用/光無線システムのセキュリティ技術/高速光伝送システムのモニタリング技術/光ラベル処理技術/光技術の新しい無線通信技術への応用/モバイル・バックホールとしての光アクセスネットワーク/マイクロ波・ミリ波技術の安全・安心なシステムへの応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とし、原則として論文は刷り上がり8ページ以内、ブリーフペーパーは4ページ以内(厳守)とします。執筆の詳細は、Information for Authors (<http://www.ieice.org>)

org/eng/shiori/mokuji_es.html)でも御覧になれます)を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間は短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。

投稿は本会電子投稿システム(https://review.ieice.org/regist_e.aspx)による電子投稿で受け付けます。上記 Web での御登録の際、“Type of Issue (Section)/Transactions” は “[Special-EC] Microwave and Millimeter-Wave Photonics Technology” を選択して下さい。“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” は下記まで電子メール添付(推奨)、FAX、または郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

3. 論文投稿締切日 平成24年5月31日(木) 必着

4. 書類送付先及び問合せ先

幹事 戸田裕之
同志社大学理工学部電子工学科
〒610-0321 京田辺市多々羅都谷1-3
TEL [0774] 65-6356, FAX [0774] 65-6801
E-mail: htoda@mail.doshisha.ac.jp

5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ 塚本勝俊(阪大)
幹事 戸田裕之(同志社大)、荘司洋三(NICT)
委員 秋山智浩(三菱電機)、岩月勝美(NTT)、河合正(兵庫県立大)、川西哲也(NICT)、熊本和夫(阪工大)、黒川 悟(AIST)、関根徳彦(NICT)、生岩量久(広島市大)、堀内幸夫(KDDI 研)、村田博司(阪大)、若森和彦(浜松ホトニクス)

6. 小特集の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン50名に送付される予定です。

7. 重要なお知らせ

投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。

——医用画像特集号(和文論文誌D) 論文募集——

医用画像特集編集委員会

近年の医用画像の撮像技術は飛躍的な進歩を続けています。それに伴い新しい処理技術の研究開発の必要性がますます増大しています。医用画像は、基礎医学、臨床医学、医学教育に大きな貢献をなしており、医学、生物学、工学、情報学の複数にわたる研究領域を束ねた新しい学問体系の創生が望まれています。本会において医用画像関連の特集号は平成20年7月に続き4回目の企画となり、その間に多くの新しい研究開発の展開が進んでいます。今回、英文誌(Information and Systems D)と合同で特集号を平成25年4月に発行することを企画します。撮像・計測方式、画像再構成、画像認識、グラフィックス、高性能計算、計算解剖学などの基盤技術のみならず、臨床応用システム、医療情報システム、生体シミュレーションなど関連諸分野との境界領域に関するテーマも含め、基礎から応用までの幅広いテーマを対象としたいと考えています。奮って投稿下さいますよう御案内します。

1. 対象分野

以下のテーマに限らず、医用画像に広く関連する論文の投稿を

お願いします。

撮像方式 (CT, MRI, PET・SPECT, 超音波, 光など), 画像再構成法, 画像解析 (位置合わせ, 領域抽出など), 画像の変換・強調・圧縮, 画像評価, グラフィックス・仮想現実感・複合現実感, 機能画像の生成・処理, コンピュータ支援画像診断技術とその応用, コンピュータ外科, 画像情報通信システム (PACS, HIS, RIS, 遠隔診断など), 画像の高性能計算, ヒューマンインタフェース, 生体シミュレーション, 計算解剖学の基礎と応用, 医学教育応用など。

2. 論文の執筆と取扱い

- 論文 (通常の一般論文), レター, 及びサーベイ論文を募集します。それぞれのページ数など詳細な規定に関しては「和文論文誌投稿のしおり」http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を参照下さい。英文誌は http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html を参照下さい。
- 査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ了承下さい。

3. 主なスケジュール

- 論文投稿締切 平成 24 年 6 月 15 日 (金) 厳守
- 最終判定予定 平成 24 年 11 月末頃
- 発行予定 平成 25 年 4 月号

4. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし, 投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト, 著作権譲渡書, 投稿原稿, 編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
(社)電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-dl@ieice.org
※郵送の際は, 封筒に「医用画像特集号」を朱記して下さい。

5. 特集編集委員会

委員長 藤田広志 (岐阜大)
副委員長 目加田慶人 (中京大)
幹事 菅 幹生 (千葉大), 原口 亮 (国立循環器病センター), 諸岡健一 (九大)
委員 有村秀孝 (九大), 小尾高史 (東工大), 加野亜紀子 (コニカミノルタエムジー), 河田佳樹 (徳島大), 北坂孝幸 (愛知工大), 木村裕一 (放医研), 佐藤哲大 (奈良先端大), 清水昭伸 (東京農工大), 庄野 逸 (電通大), 濱本和彦 (東海大), 原 武史 (岐阜大), 本谷秀堅 (名工大), 増谷佳孝 (東大), 森 健策 (名大), 山口雅浩 (東工大)

6. 問合せ先

目加田慶人 中京大学情報理工学部
TEL [0565] 46-6909, FAX [0565] 46-1299
E-mail: y-mekada@sist.chukyo-u.ac.jp
菅 幹生 千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻
TEL & FAX [043] 290-3083
E-mail: mikio.suga@faculty.chiba-u.jp

——医用画像小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

医用画像小特集編集委員会

X線撮影が医療に導入されて以来, 医用画像は, 基礎医学, 臨床医学, 医学教育に大きく貢献しています。近年, 医用画像の撮像技術や計算機の処理能力は, 飛躍的な進歩を続けています。それに伴い, 新しい医用画像処理技術の研究開発の必要性がますます増大しています。また, 医用画像処理は, 医学, 生物学, 工学, 情報学の複数の研究領域にわたり, これらの領域を束ねた新しい学問体系の創生が望まれています。そこで, 今後の医用画像処理に関する研究開発の一層の促進を目的として, 今回, 電子情報通信学会和文論文誌 D と合同で本小特集号 (平成 25 年 4 月号掲載) を企画致します。撮像・計測方式, 画像再構成, 画像認識, グラフィックス, 高性能計算, 計算解剖学などの基盤技術のみならず, 臨床応用システム, 医療情報システム, 生体シミュレーションなど関連諸分野との境界領域に関するテーマも含め, 基礎から応用までの幅広いテーマを対象としたいと考えています。

1. 対象分野

以下のテーマに限らず, 医用画像に広く関連する論文の投稿をお願いします。

- 撮像方式 (CT, MRI, PET・SPECT, 超音波, 光など), 画像再構成法
- 画像解析 (位置合わせ, 領域抽出など), 画像の変換・強調・圧縮, 画像評価
- グラフィックス・仮想現実感・複合現実感, 機能画像の生成・処理
- コンピュータ支援画像診断技術とその応用, コンピュータ外科
- 画像情報通信システム (PACS, HIS, RIS, 遠隔診断など), 画像の高性能計算
- ヒューマンインタフェース, 生体シミュレーション, 計算解剖学の基礎と応用
- 医学教育応用, など

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は, 原則として, 論文の場合は刷り上がり 8 ページ, レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると, 掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に, 編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず “Type of Issue (Section)/Category of Transactions” で [Special-ED] Medical Imaging を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2: 登録時に生成される “Copyright Transfer and Page

Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 6 月 15 日 (金) 必着

5. 送付及び問合せ先

諸岡健一

九州大学大学院システム情報科学研究院

〒812-0395 福岡市西区元岡 744 番地

TEL & FAX [092] 802-3615

E-mail: morooka@ait.kyushu-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 藤田広志 (岐阜大)

副委員長 目加田慶人 (中京大)

幹事 菅 幹生 (千葉大), 原口 亮 (国立循環器病センター), 諸岡健一 (九大)

委員 有村秀孝 (九大), 小尾高史 (東工大), 加野亜紀子 (コニカミノルタエムジー), 河田佳樹 (徳島大), 北坂孝幸 (愛知工大), 木村裕一 (放医研), 佐藤哲大 (奈良先端大), 清水昭伸 (東京農工大), 庄野 逸 (電通大), 濱本和彦 (東海大), 原 武史 (岐阜大),

本谷秀堅 (名工大), 増谷佳孝 (東大), 森 健策 (名大), 山口雅浩 (東工大)

アドバイザーメンバー Jong Hyo Kim (Seoul National University; Korea), Jong Beom Ra (KAIST; Korea), Ruey-Feng Chang (National Taiwan University; Taiwan), Pai-Chi Li (National Taiwan University; Taiwan), Tianzi Jiang (The Chinese Academy of Sciences; China), David Zhang (The Hong Kong Polytechnic University; China), Wieslaw Nowinski (Agency for Science, Technology & Research; Singapore), Yoshinobu Sato (Osaka University; Japan)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html

複製される方へ

(社)電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複製を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複製については、当該企業等法人が社団法人日本複製権センター ((社)学術著作権協会が社内利用目的複製に関する権利を再委託している団体) と包括複製許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。(社外頒布目的の複製については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複製以外の許諾 (著作物の引用, 転載, 翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> (社)電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

通信ソサイエティオンラインジャーナル

IEICE Communications Express (ComEX)

創刊のお知らせ

IEICE Communications Express 編集委員会
編集委員長 菊間信良

■ 創刊の主旨

英文論文誌 B では、毎年、数多くのレターが投稿されております。レターを投稿された著者は、迅速な研究成果の公表と優先性の確保を主たる目的とされているものと思えます。

そのニーズに応え、更なる掲載までの期間の短縮を図るため、通信ソサイエティでは 2012 年 6 月より、ウェブを用いた英文オンラインジャーナル IEICE Communications Express (ComEX) を創刊することとなりました。ComEX では、採録が決定したレターは、校正後、随時掲載致します。したがって、迅速な成果公開が可能です。なお、ComEX 創刊に伴い、2012 年 5 月 31 日付で英文論文誌 B のレター（研究速報）の投稿受付は停止致します。

ComEX では、エレクトロニクスソサイエティのオンラインジャーナル IEICE Electronics Express (ELEX) と同様に文字数、図表点数に制約を加えたフォーマットを採用した点が、英文論文誌 B のレターからの大きな変更点となります。ただし、著者の皆様に、新規性、有効性の主張点を簡潔に記述して頂くことで、よりスピーディで正確な査読・編集作業が実現できるものと考えております。

しばらくの間、会員/非会員にかかわらず閲覧可能となります。また、2013 年 5 月 31 日までに投稿頂いたものに対しては掲載料を半額とします。皆様からの最新の研究成果の御投稿をお待ちしております。

対象分野 ▶

英文論文誌 B が網羅する全ての分野

スケジュール ▶

投稿受付開始：2012 年 3 月 1 日

ComEX 創刊：2012 年 6 月 1 日

問合せ先 ▶

電子情報通信学会出版事業部 (comex@ieice.org)



ComEX ウェブサイト
(<http://www.comex.ieice.org/>)



ComEX 原稿サンプル

■ IEICE Communications Express 編集委員会 (2011 年 12 月 1 日現在)

編集委員長：菊間信良 (名工大)

編集副委員長：山田寛喜 (新潟大), 太田能 (神戸大)

編集委員：大槻知明 (慶大), 上山憲昭 (NTT), 関口高志 (三菱), 関屋大雄 (千葉大), 関谷勇司 (東大), 太郎丸真 (福岡大), 長谷川幹雄 (東京理科大), 原井洋明 (NICT), 萬代雅希 (上智大), 藤元美俊 (福井大), 松本隆太郎 (東工大), 米永一茂 (NTT), Jian Yang (清華大)



FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2012年9月4日(水)～6日(金)
会 場：法政大学(東京都小金井市梶野町3-7-2)

FIT2012 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

査読付き論文受付期間(予定)：2012年3月7日(水)～4月18日(水)
一般論文 受付期間(予定)：2012年4月25日(水)～5月24日(月)

◆論文ページ数：2～8 ページ程度 ◆講 演 時 間：20 分
◆3 ページ目以降はエクストラページ料金(3,000 円/ページ)が必要です

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●申込主要日程(予定) ※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

■査読付き論文

登録申込/投稿受付開始：2012年3月7日(水)
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切
：2012年4月18日(水)
査読の採否結果通知：2012年6月22日(金)
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)
：2012年6月22日(金)
最終掲載原稿締切：2012年7月2日(月)

■一般論文

登録申込/投稿受付開始：2012年4月25日(水)
登録申込締切：2012年5月25日(木)
最終掲載原稿締切：2012年7月2日(月)

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2012 Web ページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2012 Web ページでお知らせ致します。

●査読付き論文(4～8 ページ程度)

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞3件程度、FIT 論文賞7件程度を選定し、表彰式(FIT2012 会期中)にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金20万円、FIT 論文賞受賞論文には FIT 推進委員会より賞金5万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文発表となります)。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

●論文誌への道! 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度(6～8 ページ程度)

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込みと併せて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2012年6月22日(金)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

●一般論文(2～8 ページ程度)

当該 FIT での発表件数の1.5%を上限として、2012年12月31日現在で33歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞(賞金3万円)として FIT2013 の表彰式で贈呈します。

●問合せ先(FIT2012 幹事学会)

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館101号室
社団法人 電子情報通信学会 集会事業部 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659 E-mail: ieicefit@ieice.org